

平成 2 5 年度

地方独立行政法人福岡市立病院機構に
係る業務実績に関する評価結果報告

福 岡 市

報告第 59 号

地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る業務実績に関する評価結果報告

地方独立行政法人法第28条第 5 項の規定により，地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る平成 25 年度の業務の実績に関する評価結果について報告する。

平成 26 年 9 月 5 日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成25年度の業務実績に関する評価結果報告書

平成26年8月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

目 次

は じ め に	1
第 1 項 全体評価	2
第 2 項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成する ためとるべき措置	4
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成する ためとるべき措置	
1 医療サービス	20
2 患者サービス	36
3 医療の質の向上	44
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実	54
2 事務部門等の専門性の向上	56
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	58
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	60
2 収支改善	64
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 新病院の整備及び運営に関する取組	78
2 福岡市民病院の経営改善の推進	80
〈参考資料〉	
○各小項目に対するウエイト付け	87
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	89
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	91

は じ め に

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成25年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委 員 長	長 柄 均	福岡市医師会 副会長
副委員長	松 田 晋 哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授
委 員	佐 田 正 之	医療法人佐田厚生会佐田病院 院長
	野 口 久美子	福岡県看護協会 副会長
	吉 水 宏	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

第2期中期目標期間の初年度である平成25年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」と判断した。

この大項目評価の結果を踏まえ、平成25年度においては、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療・高度救急医療を提供するため、両病院において着実に医療機能の充実が図られるとともに、新規施設基準の取得などの積極的な増収対策や、徹底した費用削減の取り組みなどにより、結果として、各病院及び法人全体として経常黒字を達成し、独立行政法人化による改善が確実に行われていることから、平成25年度の業務実績は「全体として中期計画の実現に向けて計画を上回って進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

こども病院・感染症センターにおいては、小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として、高い水準の医療機能の維持に努め、福岡市民病院においては、地域医療計画における4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、救急部門の体制強化に積極的に取り組んでいる。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえて、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組んでいる。

さらに、理事長を中心に、両病院と事務局が一体となった経営体制を構築し、経営管理の徹底を図っている。

こうした取り組みの結果、新規施設基準の取得などによる増収に加え、診療材料等の調達にかかる価格交渉の徹底などによる費用削減により収支も向上し、経常黒字を達成しており、総務省が公表している公立病院改革ガイドラインにおける公立黒字病院の経営指標をほとんどクリアしている。

項 目	評価 項目 数	ウェイトを 考慮した 項目数	小項目評価					大項目評価
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	24		9	15			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	3	3			3			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	6	11		6	5			A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4			4			A 計画どおり進んでいる
合 計	25	42		15	27			

全体評価にあたって考慮した内容

〈主な取り組みや特色ある取り組み〉

こども病院・感染症センターにおいては、増床した ICU の効率的なベッドコントロールにより、難易度の高い手術症例の受入れ増加と診療機能の更なる充実を図っている。

また、新病院における医療機能の強化に向け、計画的に医療従事者を確保し、また、一部業務を委託化することで医師及び看護師の事務処理の負担軽減を行うなど、新病院への円滑な移行準備を進めるとともに医療水準の向上を図っている。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、特に脳神経領域における診療体制の強化を図るなど、高度専門医療の充実に努めるとともに、救急部門に救急指導医及び救急専門医を配置するなど、救急医療体制の強化を図った。また、第二種感染症病床の設置及び救急部門の機能拡充等に向け、別館建設工事に着手するなど、計画的に診療機能の強化・充実に取り組んでいる。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて地域の医療機関との連携強化に努めるとともに、より一層の接遇改善も含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めている。

新病院については、本年11月の開院に向けて、建物完成までの施工確認・進捗管理を適切に行うとともに、万全の状態が開院できるよう運営体制面での準備を進めている。

〈特筆すべき取り組み〉

増収対策として、こども病院・感染症センターにおいては、積極的、効率的な手術症例の受け入れに努め、また、治験業務を積極的に推進するとともに、感染対策室の設置及び専従の感染管理認定看護師の配置による感染防止対策加算1等の施設基準を取得することなどによって増収を図っている。

福岡市民病院においては、救急部門の体制強化や高度専門医療の拡充などによる救急搬送件数及び手術件数等の増加によって増収を図っている。

費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や、委託契約の見直しによる複数年契約の導入、ジェネリック医薬品の使用拡大等による費用削減に取り組んでいる。

この結果、法人全体として、経常黒字を達成している。

また、特に、こども病院・感染症センターについては、中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組む、引き続き医業収支比率の目標を達成するなど、経営改善が順調に進んでいる。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・周辺の医療機関に対する研修等を行う際には、資格取得等によりスキルアップした職員を講師として派遣し、周辺の医療機関へ貢献していただきたい。
- ・厚生労働省が公表している医療の質の評価に関する指標等のデータを取り入れ、定量的な比較についても記載するべきである。
- ・両病院ともに安定的な医療がなされている。福岡市民病院は救急搬送件数が増加するなど努力しており、こども病院・感染症センターは全診療科で対応し、充実したこども病院となっている。
- ・収支改善の評価については、平成25年度の経常損益の決算額は、予算に比べ大幅に上回っている点を考慮する。
- ・今後もできるだけ運営費負担金を軽減できるよう経費節減等に努められたい。
- ・他の公的病院と比較するための関連資料を掲載し、独立行政法人化の成果が確認できるようにするべきである。

第2項 項目別評価

(1)大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

「地域医療への貢献と医療連携の推進」「災害時等の対応」「患者サービスの向上」「病院スタッフの確保と教育・研修」の項目において、目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 医療サービス	5	9		5	4		
2 患者サービス	4	6		2	4		
3 医療の質の向上	5	9		2	7		
合 計	14	24		9	15		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1-(2)地域医療への貢献と医療連携の推進 ア こども病院・感染症センター」

紹介率、逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(2)地域医療への貢献と医療連携の推進 イ 福岡市民病院」

地域の医療機関との連携強化に積極的に取り組んだこと、また、指標として特に、逆紹介率の指標が目標値を大きく上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(3)災害時等の対応」

災害発生時の危機管理体制の整備や防災訓練の実施に加え、福岡市民病院において、「第7回福岡メディカルラリー」で優勝したこと及び九州沖縄各県の主要8病院との間で「災害時における医療機関相互応援に関する協定」を締結するなど、災害対策の強化を図ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「2-(1)患者サービスの向上 イ 福岡市民病院」

患者満足度調査の平均評価点数が目標値を大幅に上回ったことや、外来機能の改善を順次図ったことなどにより、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「3-(1)病院スタッフの確保と教育・研修 ア こども病院・感染症センター」

人材確保が困難な中、必要な医師を確保したこと、外国人医師との技術交流を実施したこと及び医療技術職の資格取得により、専門性の向上や医療技術の向上を図ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・周辺の医療機関に対する研修等を行う際には、資格取得等によりスキルアップした職員を講師として派遣し、周辺の医療機関へ貢献していただきたい。
- ・厚生労働省が公表している医療の質の評価に関する指標等のデータを取り入れ、定量的な比較についても記載するべきである。
- ・両病院ともに安定的な医療がなされている。福岡市民病院は救急搬送件数が増加するなど努力しており、こども病院・感染症センターは全診療科で対応し本当のこども病院となっている。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A（計画どおり進んでいる）

評価結果

理事会の決定方針に沿った運営を行うとともに、院長のリーダーシップの下、現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A＝小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実	1	1			1		
2 事務部門等の専門性の向上	1	1			1		
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	1	1			1		
合 計	3	3			3		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

特になし。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

特になし。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A（計画どおり進んでいる）

評価結果

経営管理の徹底による効率的・効果的な経営を行うことにより、両病院及び法人全体としても運営費負担金繰入後の経常黒字が達成されており、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A＝小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 経営基盤の強化	2	3			3		
2 収支改善	4	8		6	2		
合 計	6	11		6	5		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「2-(1)増収 ア こども病院・感染症センター」

高額薬剤の使用件数の減少などにより外来単価が減少したものの、新規施設基準の取得などにより予算を上回る医業収益を確保するなど、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「2-(2)費用削減」

人事管理や給与支給事務など、両病院に共通する業務については、本部事務局において集約して執行するなど、法人全体でより効果的な事業運営に努めるとともに、両病院においても年度計画に基づいて徹底した費用削減に取り組み、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「2-(3)収支改善」

両病院において、年度計画に基づいた増収対策及び費用削減の取り組みを徹底し、収益の確保に努め、法人として予算を上回る当期純利益を確保していることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項 特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・収支改善の評価については、平成25年度の経常損益の決算額は、予算に比べ大幅に上回っている点を考慮する。

・今後もできるだけ運営費負担金を軽減できるよう経費節減等に努められたい。

・他の公的病院と比較するための関連資料を掲載し、独立行政法人化の成果が確認できるよう

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

新病院に向けた取組みについては、平成26年11月の開院に向け着実に事業を推進するとともに、福岡市民病院の経営改善については、経常収支の黒字を達成するなど、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 新病院の整備及び運営に関する取組	1	2			2		
2 福岡市民病院の経営改善の取組	1	2			2		
合 計	2	4			4		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

特になし。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

特になし。

(2)小項目評価 別紙のとおり

(別紙)

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成25年度の業務実績に関する評価結果

小項目評価

福岡市立病院機構の概要

1. 現況（平成25年4月1日現在）

① 法人名

地方独立行政法人福岡市立病院機構

② 本部の所在地

福岡市博多区店屋町4番1号

③ 役員の状況

（平成25年4月1日現在）

役員	氏名	備考
理事長	福重 淳一郎	福岡市立こども病院・感染症センター 院長
副理事長	竹中 賢治	福岡市民病院 院長
理事	石原 進	福岡経済同友会 代表幹事
	高橋 宏和	元 福岡市代表監査委員
	青木 知信	福岡市立こども病院・感染症センター 副院長
	是永 大輔	福岡市民病院 副院長
	塚崎 恵子	福岡市民病院 看護部長
監事	伊達 健太郎	弁護士
	新原 清治	公認会計士

④ 運営する病院

（平成25年4月1日現在）

病院名	所在地	病床数
福岡市立こども病院・感染症センター	福岡市中央区唐人町2-5-1	一般病床 190床 感染症病床 20床
福岡市民病院	福岡市博多区吉塚本町1-3-1	一般病床 200床

⑤ 職員数

（平成25年5月1日現在）

区 分	職員数
合 計	713人
こども病院・感染症センター	367人
福岡市民病院	324人
本部事務局	22人

2. 基本的な目標等

地方独立行政法人福岡市立病院機構は、地方独立行政法人制度の特長である自律性、自主性を最大限に発揮し、医療制度改革や診療報酬改定など医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、効率的な病院経営を行いながら、地域の医療機関等との機能分担や連携の下、引き続き高度専門医療、救急医療等を提供し、地域における医療水準の向上、市民の健康の維持及び増進に寄与すべく、以下の基本理念及び基本方針の下、福岡市長から指示された中期目標を達成する。

〈基本理念〉

いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。

〈基本方針〉

質の高い医療の提供

地域・社会に貢献する病院

健全な病院経営

1 法人の総括と課題

法人設立4年目となる平成25年度については、福岡市から示された第2期中期目標期間の初年度であり、第1期中期目標期間の業務実績を踏まえ、更なる医療水準の向上を図るとともに、引き続き経営の効率化等に取り組んだ。

福岡市から独立した法人として、地方独立行政法人制度の特長を最大限に生かした自律的な経営が求められていることを踏まえ、理事長を中心に、両病院と本部事務局が一体となった運営を行うとともに、外部理事を含む理事会を定期的を開催し、経営管理の徹底を図った。

これらの経営基盤の下、第2期中期計画及び平成25年度の年度計画に基づき、こども病院・感染症センターにおいては、小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能の維持に努め、福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、救急部門の体制強化に取り組んだ。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえて、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組み、地域医療への貢献に努めた。

経営収支面では、両病院ともに高度専門医療の提供に伴う難易度の高い手術症例の増加や新規施設基準の取得などの積極的な増収対策に努めるとともに、診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底などによる費用削減に取り組んだ結果、平成24年度に引き続き、純利益を確保した。また、福岡市からの運営費負担金については、現在の2病院体制となって以降では、最も少ない額に抑制することができた。

今後の課題としては、新病院の平成26年11月開院に向けて、建物完成までの施工確認・進捗管理を適切に行うとともに、万全の状態で開院できるよう運営体制面の準備を進めていく必要がある。また、移転に際しては、患者の安全を最優先に搬送作業を進めるとともに、移転後は、病院経営の観点から早期に病床利用率の回復等に取り組む必要がある。

また、福岡市民病院についても、平成26年夏頃には別館が完成することから、感染症病床の受入れ及び救急機能の強化に向けた体制の整備を図るとともに、引き続き経営改善に向けた取り組みを進めていく必要がある。

2 大項目ごとの特記事項及び各病院の取り組み状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 医療サービス

福岡市の医療施策として求められる高度専門医療、高度救急医療等を引き続き提供するために、診療機能の更なる充実を図った。こども病院・感染症センターにおいては、増床したICUの効率的なベットコントロールにより、難易度の高い手術症例の受入れ増加を図ったほか、新病院における医療機能の強化に向け、計画的に医療従事者を確保するなど、新病院への円滑な移行準備を進めた。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、特に脳神経領域における診療体制の強化を図るなど、高度専門医療の充実に努めるとともに、救急部門に救急指導医及び救急専門医を配置するなど、救急医療体制の強化を図った。また、第二種感染症病床（4床）の受入及び救急部門の機能拡充等に向けた準備を進め、別館建設工事に着手した。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて、地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めた。

さらに、災害発生に備え、両病院ともに防災訓練の実施や食料・飲料水や応急薬品等の備蓄を適切に行った。

なお、福岡市民病院においては、九州沖縄各県の主要8病院との間で「災害時における医療機関相互応援に関する協定」を締結し、災害発生時における相互応援体制を構築した。

(2) 患者サービス

両病院共通の取り組みとしては、患者一人ひとりに質の高い医療及び充実した看護を提供することが患者サービスの基本と捉えたうえで、より一層の接遇改善も含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めた。

こども病院・感染症センターにおいては、退院時のアンケート調査や外来患者を対象とした待ち時間及び満足度調査を継続して実施し、これらの結果や新病院への移転を踏まえながら、ソフト面を中心に更なる患者サービスの向上に努めた。

福岡市民病院においても、患者満足度調査を継続して実施し、これらの結果を踏まえながら更なる患者サービスの向上に努めるとともに、総合受付の再編、総合案内の設置及び自動再来受付機を導入するなど、患者の利便性向上を図った。

(3) 医療の質の向上

医療水準を向上させるための病院スタッフの確保と教育・研修については、こども病院・感染症センターにおいては、診療機能の充実と新病院への移転を踏まえ、医師の増員を行ったほか、一部業務を委託化することで医師及び看護師の事

務処理の負担軽減を図った。

福岡市民病院においても、診療機能の充実を図るため医師の増員を行ったほか、感染症病床の受け入れに備え、全職員対象の院内感染勉強会を2回実施した。

また、両病院ともに認定看護師の育成を積極的に行ったほか、医療技術職についてもそれぞれ専門的な資格を取得させるなど、専門性及び医療技術の向上を図った。

信頼される医療の実践については、両病院ともに院内の感染防止対策や医療安全対策の強化を図ったほか、薬剤管理指導や栄養食事指導・相談を充実し、安全安心な医療の提供に努めた。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

平成25年度は合計9回の理事会を開催し、法人の経営方針を決定するとともに、適宜、経営管理諸表による経営状況の把握や年度計画の進捗状況を管理し、業務執行の適確性の検証はもとより、経済性・効率性の追及を徹底したほか、看護師・助産師の人材確保や育成等の重要課題に対処するため、4月から新たに看護部門の担当理事を設置した。

また、院長のリーダーシップの下、運営委員会（こども病院）や経営五役会議（福岡市民病院）の開催等により、両病院の現場の実態に即した効率的・効果的な経営を行った。

(2) 事務部門等の専門性の向上

民間病院経験者を採用し両病院の医事課に配置するとともに、事務局全体の機能強化を図るため、今後の事務職員の人材育成・活性化のための方向性と具体的な取り組みを示した「事務職員人材育成プラン」を策定した。

また、監督者（係長級職員）のマネジメント能力向上を目的に監督者研修を新たに実施したほか、両病院においても、院内研修を定期的で開催するとともに、外部研修の受講を積極的に推進するなど、経営感覚に優れた職員の育成に努めた。

(3) 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入

平成24年度に実施した職員満足度調査の結果を踏まえ、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取り組みを進めるとともに、福利厚生施設の改善に関する要望については、新病院や福岡市民病院別館の設計に反映させるなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んだ。

医師を対象とした人事評価制度については、3年間の試行の効果等を検証し、必要な改善策を講じたうえで、平成26年度から本格導入することとした。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 経営基盤の強化

法人の経営幹部（理事長，副理事長，本部事務局長，病院事務局長，看護部長）で構成する「経営会議」を毎月開催し，月次の経営管理諸表を作成して，随時，経営状況の検証を行いながら，課題に応じた適切な改善策を講じるとともに，両病院においても，診療科長等情報連絡協議会（こども病院）や所属長会議（福岡市民病院）等を開催して，各部署の課題や取り組み方針等についての情報を共有化し，また，各診療科への院長ヒアリング等を実施するなどにより，目標達成状況の把握・管理を徹底した。

自己財源の確保対策としては，収支改善による利益の確保とともに，積立金の運用方法を見直すなどにより，平成25年度末の病院施設，病院機器等の整備のための積立金が前年度から約6.9億円増加し，総額約22億円となった。

(2) 収支改善

増収対策については，こども病院・感染症センターにおいて，難易度の高い手術症例の増加等により入院診療単価の上昇に繋げ，また，新たな施設基準の取得や治験業務の積極的な推進等により増収を図った。

福岡市民病院においても，新たな施設基準の取得のほか，高度専門医療の充実や救急部門の体制強化による手術件数及び救急搬送件数等の増加によって増収を図った。

一方，費用削減対策については，両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底，契約手法や委託業務の見直しの実施及びジェネリック医薬品の使用拡大などに取り組んだ。

この結果，こども病院・感染症センターにおいては，経営に関する3指標（総収支比率，経常収支比率，医業収支比率）の目標値をすべて達成し，純利益を確保した。福岡市民病院においては，経営に関する3指標の目標値は達成できなかったものの，純利益は確保した。

【医業収益】

(単位：千円)

区 分	平成24年度実績	平成25年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
こども病院・感染症センター	6,110,225	6,218,191 (6,133,404)	107,966 (84,787)
福岡市民病院	5,039,305	4,885,900 (5,200,000)	▲153,405 (▲314,100)
法人全体	11,149,530	11,104,091 (11,333,404)	▲45,439 (▲229,313)

【営業費用】

(単位：千円)

区 分	平成24年度実績	平成25年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
こども病院・感染症センター	※ 6,506,993	※ 6,514,194 (6,985,612)	7,201 (▲471,418)
福岡市民病院	5,033,600	5,065,841 (5,375,915)	32,241 (▲310,074)
法人全体	11,540,593	11,580,036 (12,361,527)	39,443 (▲781,491)

※ こども病院については、解体する現病院の建物に係る残存価格を新病院開院までの4年間に圧縮して償却する必要があるため、営業費用に圧縮後の減価償却費722,261千円を加えて計上している。

※ 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

【経常収支比率】

(単位：%)

区 分	平成24年度実績	平成25年度実績 ()は25年度目標値	比較増減 ()は実績－目標値
こども病院・感染症センター	112.2	111.1 (104.2)	▲1.1 (6.9)
福岡市民病院	114.5	107.4 (109.3)	▲7.1 (▲1.9)
法人全体	113.2	109.5 (106.2)	▲3.7 (3.3)

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

(1) 新病院の整備及び運営に関する取組

新病院の整備については、平成24年12月に着工した病院本体工事の施工確認・進捗管理を適切に行い、平成26年8月の竣工、引き渡しに向けた準備を進めるとともに、新病院の施設管理を行う株式会社FCHパートナーズと共に、開院後の運営体制について検討を行った。

PFI対象外の運營業務については、6月に情報システムの開発業者を決定し、システム構築のための検討を進めるとともに、医療機器の調達については、こども病院・感染症センターの幹部等で構成する新病院準備委員会において、優先度や仕様等を審議・決定し、順次、入札を行った。また、医療関連業務委託については、新病院準備委員会において委託対象業務、仕様、選定方法等を審議・決定し、入札手続きを進めた。

開院準備については、1年前調査として移転1年前の同曜日の患者の状況把握を行うとともに、新病院までの所要時間についての経路調査を行った。

体制面においては、新病院の医療機能の強化に向け、医師を増員するとともに、看護師及びその他医療従事者の確保に向け採用手続きを行った。

このほか、患児家族滞在施設（ふくおかハウス）の建設に向けて、5月に募金委員会を設立し、建設資金の募金活動を行ったほか、募金活動に関する広報活動や新病院の概要等について、各種広報媒体を活用し、積極的に情報発信した。

(2) 福岡市民病院における経営改善の推進

経営改善の推進については、院長を中心に徹底した経営管理を行いながら、病院一丸となって経営の効率化に努め、積極的な増収対策や徹底した費用削減に取り組む、純利益は確保することができたものの、医業収益が見込みを下回ったことから、医業収支比率は前年度実績を下回った。

平成25年度の取り組みとしては、引き続き高度専門医療、高度救急医療の強化・充実を図ったほか、第二種感染症病床（4床）の受入及び救急部門の機能拡充等に向け、新たに整備する別館の機能選定や設計等の準備を進め、10月に建設工事に着手した。

【医業収支比較】

(単位：百万円)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
医業収益 a	3,998	4,526	4,881	5,039	4,886
営業費用 b	4,439	4,687	4,849	5,034	5,066
差引 (a - b)	▲441	▲161	32	5	▲180
医業収支比率 (a / b)	90.1%	96.6%	100.7%	100.1%	96.4%

【主な目標値の達成状況】

区 分		こども病院・感染症センター			福岡市民病院		
		25年度 目標値	25年度 実績値	達成率	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率
患者 動 向	1人1日当たり入院単価（円）	100,000	105,974	106.0	62,000	59,254	95.6
	1人1日当たり外来単価（円）	12,000	11,468	95.6	16,000	16,141	100.9
	1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（％））	146.0 (76.8)	140.1 (73.7)	96.0 (96.0)	184.0 (92.0)	177.9 (88.9)	96.7 (96.6)
	新規入院患者数（人）	4,890	4,554	93.1	4,600	4,349	94.5
	平均在院日数（日）	10.9	10.2	106.9	12.1	11.8	102.5
	1日当たり外来患者数（人）	267.0	274.8	102.9	247.0	242.8	98.3
医 業 活 動	手術件数（件）	2,170	2,123	97.8	2,650	2,761	104.2
	救急搬送件数（件）	690	577	83.6	2,400	2,472	103.0
	紹介率（％）	86.0	87.2	101.4	80.0	72.5	90.6
	逆紹介率（％）	27.5	41.3	150.2	82.0	111.3	135.7
	薬剤管理指導件数（件）	3,400	3,315	97.5	8,600	8,998	104.6
	栄養食事指導・相談件数（件）	300	324	108.0	1,050	1,140	108.6
患 者 満 足	退院時アンケート結果（こども病院）	88.0	88.0	100.0	—	—	—
	患者満足度調査（福岡市民病院）	—	—		80.0	91.3	114.1
経 営 収 支	給与費対医業収益比率（％）	58.7	55.3	106.1	55.4	58.6	94.5
	材料費対医業収益比率（％）	19.2	18.4	104.3	24.2	24.2	100.0
	薬品費対医業収益比率（％）	6.9	6.5	106.2	8.6	8.7	98.9
	診療材料費対医業収益比率（％）	12.1	11.7	103.4	15.5	15.4	100.6
	委託料対医業収益比率（％）	8.3	7.1	116.9	7.4	6.6	112.1
	ジェネリック医薬品導入率（％）	7.0	7.6	108.6	26.0	27.2	104.6
	総収支比率（％）	103.8	111.0	106.9	108.4	107.0	98.7
	経常収支比率（％）	104.2	111.1	106.6	109.3	107.4	98.3
	医業収支比率（％）	89.0	95.5	107.3	98.5	96.4	97.9

項目別の状況

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践 こども病院・感染症センター及び平成26年度開院予定の新病院並びに福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。 ア こども病院・感染症センター ① 小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持する。 ② 新病院への円滑な移行に向けた準備を進める。 ③ 第一種・第二種感染症指定医療機関として、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たす。	こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。 ア こども病院・感染症センター ○ 小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持するため、平成24年11月に増床したICU2床の本格的な稼働を開始する。 ○ 新病院での医療機能の強化に向け、計画的な医療従事者の確保に努めるなど、新病院への円滑な移行準備を進める。 ○ 第一種・第二種感染症指定医療機関として、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たす。

中期目標(内容)	市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。 また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。 ア こども病院・感染症センター 小児に係る地域医療及び高度専門医療を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持するとともに、第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、福岡県に対し、新病院開院に先立つ早期の指定辞退を届け出ているが、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たすこと
-----------------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
ア こども病院・感染症センター ○ 8床に増床したICUについては、看護師配置の都合により7床での運用にとどまっているものの、小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持し、病院の社会的使命である難易度の高い手術症例の受け入れに支障を来すことのないよう、効率的なベッドコントロールに努めた結果、心臓血管外科の手術件数については、前年度を24件上回った。 ○ 新病院における医療機能の強化に向け、医師の増員を行うとともに、看護師及びその他医療従事者の確保に向けた採用手続きを行った。 また、新病院準備委員会の定期的な開催、委託業務に係る業者選定、新しい医療情報システムの検討会の開催等、円滑な移行準備を進めた。 ○ 第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、県及び市と連携してその役割を果たした。なお、県との協議の進展により、5月に第二種指定病床の2床を返上した。 ○ 主な目標値の達成状況については、流行性感染症患者の減少等に伴い、全体の入院患者数は目標値を5.9人/日下回ったが、難易度の高い手術症例の増により、入院単価は目標値を上回った。外来患者数については、目標値を7.8人上回ったものの、高額薬剤の接種対象者の減少等により、外来単価は目標値を下回った。	2	3	2	3	小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持し、効率的なベッドコントロールに努めるとともに、新病院への円滑な移行準備を進めるなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。

中期計画	年度計画																											
	【目標値】 <table><tr><th>指標</th><th>平成23年度 実績値</th><th>平成25年度 目標値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>100,367</td><td>100,000</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>11,966</td><td>12,000</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））</td><td>145.9 (76.8)</td><td>146.0 (76.8)</td></tr><tr><td>新規入院患者数（人）</td><td>4,899</td><td>4,890</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>9.9</td><td>10.9</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>276.7</td><td>267.0</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,212</td><td>2,170</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>639</td><td>690</td></tr></table>	指標	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値	1人1日当たり 入院単価（円）	100,367	100,000	1人1日当たり 外来単価（円）	11,966	12,000	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	145.9 (76.8)	146.0 (76.8)	新規入院患者数（人）	4,899	4,890	平均在院日数（日）	9.9	10.9	1日当たり 外来患者数（人）	276.7	267.0	手術件数（件）	2,212	2,170	救急搬送件数（件）	639	690
指標	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値																										
1人1日当たり 入院単価（円）	100,367	100,000																										
1人1日当たり 外来単価（円）	11,966	12,000																										
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	145.9 (76.8)	146.0 (76.8)																										
新規入院患者数（人）	4,899	4,890																										
平均在院日数（日）	9.9	10.9																										
1日当たり 外来患者数（人）	276.7	267.0																										
手術件数（件）	2,212	2,170																										
救急搬送件数（件）	639	690																										

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																													
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																											
【実績値】 <table><tr><th>指標</th><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>100,689</td><td>105,974</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>13,350</td><td>11,468</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>141.6 (74.5)</td><td>140.1 (73.7)</td></tr><tr><td>新規入院患者数 （人）</td><td>4,599</td><td>4,554</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>10.2</td><td>10.2</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>269.6</td><td>274.8</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,155</td><td>2,123</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>630</td><td>577</td></tr></table>	指標	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	100,689	105,974	1人1日当たり 外来単価（円）	13,350	11,468	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	141.6 (74.5)	140.1 (73.7)	新規入院患者数 （人）	4,599	4,554	平均在院日数（日）	10.2	10.2	1日当たり 外来患者数（人）	269.6	274.8	手術件数（件）	2,155	2,123	救急搬送件数（件）	630	577					
指標	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値																														
1人1日当たり 入院単価（円）	100,689	105,974																														
1人1日当たり 外来単価（円）	13,350	11,468																														
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	141.6 (74.5)	140.1 (73.7)																														
新規入院患者数 （人）	4,599	4,554																														
平均在院日数（日）	10.2	10.2																														
1日当たり 外来患者数（人）	269.6	274.8																														
手術件数（件）	2,155	2,123																														
救急搬送件数（件）	630	577																														

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践		
中期計画		年度計画	
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践 イ 新病院 ① 総合診療科や脳神経外科等を新設し、医療機能の強化を図る。 ② 産科や新生児集中治療室を拡充し、周産期医療の充実を図る。 ③ 診療体制を強化し、小児救急医療の充実を図る。 【目標値】		イ 新病院 ○ 平成26年11月開院予定	
指標		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値
1人1日当たり 入院単価(円)		100,367	97,700
1人1日当たり 外来単価(円)		11,966	12,900
1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率(%))		145.9 (76.8)	208.5 (89.5)
新規入院患者数(人)		4,899	6,400
平均在院日数(日)		9.9	11.9
1日当たり 外来患者数(人)		276.7	387.4
手術件数(件)		2,212	2,720
救急搬送件数(件)		639	1,020
※ 平成23年度実績値は、こども病院・感染症センターの実績値			

中期目標（内容）	市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。 また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。 イ 新病院 新病院においては、平成20年12月策定の新病院基本構想を踏まえ、総合診療科、脳神経外科、歯科口腔外科及び皮膚科を新設するとともに、産科を拡充し、こども病院としてこれまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）及び周産期医療の更なる充実を図ること。
-----------------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
イ 新病院 ○ 平成26年11月開院予定	—	—			

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践 ウ 福岡市民病院 ① 医療法で定められた医療計画における4疾病（がん，脳卒中，急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図る。 ② 年々増加傾向にある救急患者を円滑に受け入れるとともに，交通事故等で頭部，脊椎，腹部などの複数部分に重度の損傷を負った多発外傷にも適切に対応できるよう救急診療室を拡張し，高度救急医療の強化充実を図る。 ③ 福岡県からの依頼に基づき，第二種感染症病床（4床）を設置するとともに，新型インフルエンザ等の感染症発生時においては，市立病院として，福岡市の対策における医療面での中核的な役割を担うなど，感染症医療機能の充実を図る。 ④ 上記の医療機能強化に対応するため，施設・設備の拡充を図る。	こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が，それぞれに求められる役割を着実に果たすため，次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。 ウ 福岡市民病院 ○ 医療法で定められた医療計画における4疾病（がん，脳卒中，急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに，救急部門の体制強化を図る。 ○ 福岡県からの依頼に基づく第二種感染症病床（4床）の受入及び救急部門の機能拡充等に向けた準備を進め，施設拡張工事に着手する。

中期目標（内容）	市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。
	また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。
ウ 福岡市民病院	高度専門医療を担う地域の中核病院としての機能を維持するとともに、高度救急医療の更なる充実を図ること。
	また、新型インフルエンザ等の感染症発生時においては、福岡市における対策の中核的役割を果たすため、必要な対応を図ること。

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
ウ 福岡市民病院 ○ がんや脳卒中など地域医療計画における4疾病への対応を中心に高度専門医療を提供し、特に脳神経領域では、脳血管内治療の専門医の配置や脳卒中リハビリ認定看護師を養成し、体制の拡充、強化を行った。SCU（脳卒中ケアユニット）の稼働率はほぼ満床状況（96.9%）にあり、脳卒中地域連携パス発行数も284件と市内医療機関で最も多い件数となった。 救急部門に関しては、救急指導医と救急専門医を1名ずつ配置したことにより、1月に日本救急医学会救急科専門医指定施設の認定を取得した。さらに救急認定看護師を2名配置するなど体制を強化した。 ○ 福岡県からの依頼に基づく第二種感染症病床（4床）の設置及び救急部門の機能拡充等に向け、新たに整備する別館の機能選定や設計等の準備を進め、10月に建設工事に着手した。 ○ 主な目標値の達成状況については、入院患者数は目標値を6.1人/日下回り、入院単価は前年度実績値及び目標値を下回った。外来患者数は目標値を4.2人/日下回ったが、外来単価については目標値を上回った。手術件数及び救急搬送件数については、目標値及び前年度実績値を上回った。	2	3	2	3	目標値を達成していない項目はあるものの、脳神経領域での脳血管内治療の専門医の配置や脳卒中リハビリ認定看護師の養成、体制の拡充、強化を行うなど高度専門医療の充実が図られていることから、「評価3」とする。

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	指標	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	57,617	64,500	1人1日当たり 入院単価（円）	57,617	62,000
1人1日当たり 外来単価（円）	15,413	16,000	1人1日当たり 外来単価（円）	15,413	16,000
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)
新規入院患者数(人)	4,386	4,900	新規入院患者数(人)	4,386	4,600
平均在院日数（日）	12.6	11.6	平均在院日数（日）	12.6	12.1
1日当たり 外来患者数（人）	236.5	250.0	1日当たり 外来患者数（人）	236.5	247.0
手術件数（件）	2,619	2,750	手術件数（件）	2,619	2,650
救急搬送件数（件）	2,323	3,100	救急搬送件数（件）	2,323	2,400

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																													
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																											
【実績値】 <table><tr><th>指標</th><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>59,485</td><td>59,254</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>15,746</td><td>16,141</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>184.5 (92.3)</td><td>177.9 (88.9)</td></tr><tr><td>新規入院患者数 （人）</td><td>4,527</td><td>4,349</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>12.1</td><td>11.8</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>248.9</td><td>242.8</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,742</td><td>2,761</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>2,429</td><td>2,472</td></tr></table>	指標	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	59,485	59,254	1人1日当たり 外来単価（円）	15,746	16,141	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	184.5 (92.3)	177.9 (88.9)	新規入院患者数 （人）	4,527	4,349	平均在院日数（日）	12.1	11.8	1日当たり 外来患者数（人）	248.9	242.8	手術件数（件）	2,742	2,761	救急搬送件数（件）	2,429	2,472					
指標	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値																														
1人1日当たり 入院単価（円）	59,485	59,254																														
1人1日当たり 外来単価（円）	15,746	16,141																														
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	184.5 (92.3)	177.9 (88.9)																														
新規入院患者数 （人）	4,527	4,349																														
平均在院日数（日）	12.1	11.8																														
1日当たり 外来患者数（人）	248.9	242.8																														
手術件数（件）	2,742	2,761																														
救急搬送件数（件）	2,429	2,472																														

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

中期計画		年度計画																																																			
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、かかりつけ医等の支援を通じて地域医療への貢献に取り組む。 ② 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。		ア こども病院・感染症センター ○ 小児医療の基幹病院及び地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院として病病・病診連携を推進するとともに、症状の安定した患者については、積極的に地域の医療機関に逆紹介する。 ○ 開放型病床への登録医の増加を図るとともに、地域の医療機関への広報等の充実、オープンカンファレンスの利用促進に取り組むなど更なる連携強化を図る。																																																			
【目標値】		【目標値】																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院（新病院）</th></tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">紹介率 (%)</td><td>85.3</td><td>89.0</td></tr> <tr> <td colspan="2">逆紹介率 (%)</td><td>25.7</td><td>28.0</td></tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td><td>回数 (回)</td><td>33</td><td>36</td></tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td><td>1,017</td><td>1,260</td></tr> <tr> <td colspan="2">開放型病床への登録医数 (人)</td><td>111</td><td>160</td></tr> </tbody> </table>		指標		こども病院（新病院）		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	紹介率 (%)		85.3	89.0	逆紹介率 (%)		25.7	28.0	オープンカンファレンス	回数 (回)	33	36	参加者数 (人)	1,017	1,260	開放型病床への登録医数 (人)		111	160	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院・感染症センター</th></tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th><th>平成25年度 目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">紹介率 (%)</td><td>85.3</td><td>86.0</td></tr> <tr> <td colspan="2">逆紹介率 (%)</td><td>25.7</td><td>27.5</td></tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td><td>回数 (回)</td><td>33</td><td>30</td></tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td><td>1,017</td><td>1,000</td></tr> <tr> <td colspan="2">開放型病床への登録医数 (人)</td><td>111</td><td>150</td></tr> </tbody> </table>		指標		こども病院・感染症センター		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値	紹介率 (%)		85.3	86.0	逆紹介率 (%)		25.7	27.5	オープンカンファレンス	回数 (回)	33	30	参加者数 (人)	1,017	1,000	開放型病床への登録医数 (人)		111	150
指標				こども病院（新病院）																																																	
		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																																																		
紹介率 (%)		85.3	89.0																																																		
逆紹介率 (%)		25.7	28.0																																																		
オープンカンファレンス	回数 (回)	33	36																																																		
	参加者数 (人)	1,017	1,260																																																		
開放型病床への登録医数 (人)		111	160																																																		
指標		こども病院・感染症センター																																																			
		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値																																																		
紹介率 (%)		85.3	86.0																																																		
逆紹介率 (%)		25.7	27.5																																																		
オープンカンファレンス	回数 (回)	33	30																																																		
	参加者数 (人)	1,017	1,000																																																		
開放型病床への登録医数 (人)		111	150																																																		

中期目標（内容）	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																											
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																									
ア こども病院・感染症センター ○ 小児医療の基幹病院及び地域医療支援病院として病病・病診連携を推進した結果、紹介率は目標値を上回り、逆紹介率についても、症状の安定した患者を積極的に地域の医療機関へ逆紹介を行った結果、目標値を大幅に上回った。 ○ 成人移行期の患者について、地域の医療機関への引継ぎを円滑に実施するため、福岡市医師会の協力のもと、地域の医療機関に向けて移行期医療に関するアンケートを実施し、協力医療機関をリストアップするなど、連携体制の強化を図った。 ○ 開放型病床への登録医については、積極的に地域の医療機関への登録案内を行い、拡大を図った結果、目標値を上回った。 ○ オープンカンファレンスについては、こども病院カンファレンスをはじめ、症例検討会等を定期的に開催するなど参加者数の拡大に取り組み、目標値を上回った。 ○ 福岡県が平成24年1月に開設した福岡アジア医療サポートセンターと連携し、医療通訳ボランティアの派遣を受けることにより、在日外国人患者の入院時や手術等に円滑に対応した。 【実績値】 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院・感染症センター</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td colspan="2">紹介率（%）</td><td>86.3</td><td>87.2</td></tr><tr><td colspan="2">逆紹介率（%）</td><td>25.8</td><td>41.3</td></tr><tr><td rowspan="2">オープンカン ファレンス</td><td>回 数 (回)</td><td>44</td><td>44</td></tr><tr><td>参加者数 (人)</td><td>1,149</td><td>1,160</td></tr><tr><td colspan="2">開放型病床への登 録医数（人）</td><td>136</td><td>154</td></tr></table>	指標		こども病院・感染症センター		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	紹介率（%）		86.3	87.2	逆紹介率（%）		25.8	41.3	オープンカン ファレンス	回 数 (回)	44	44	参加者数 (人)	1,149	1,160	開放型病床への登 録医数（人）		136	154	2	4	2	4	紹介率、逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。
指標			こども病院・感染症センター																											
		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値																											
紹介率（%）		86.3	87.2																											
逆紹介率（%）		25.8	41.3																											
オープンカン ファレンス	回 数 (回)	44	44																											
	参加者数 (人)	1,149	1,160																											
開放型病床への登 録医数（人）		136	154																											

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

中期計画		年度計画	
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、かかりつけ医等の支援を通じて地域医療への貢献に取り組む。 ② 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。		イ 福岡市民病院 ○ 地域医療連携室の機能強化を図るとともに、積極的に近隣の医療機関への訪問等を実施し、病病・病診連携に努め、紹介率、逆紹介率の向上を図る。 ○ 地域医療支援病院が果たす役割として、「かかりつけ医」等を支援し、地域医療を確保するため、紹介患者に対する最適な医療の提供や医療機器等の共同利用を促進するとともに、地域の医療従事者に対する研修を継続して行う。	
【目標値】		【目標値】	
指標		福岡市民病院	
		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値
紹介率 (%)		79.9	83.0
逆紹介率 (%)		74.2	88.0
オープンカンファレンス	回数 (回)	30	36
	参加者数 (人)	1,104	1,150
開放型病床への登録医数 (人)		127	140
指標		福岡市民病院	
		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
紹介率 (%)		79.9	80.0
逆紹介率 (%)		74.2	82.0
オープンカンファレンス	回数 (回)	30	35
	参加者数 (人)	1,004	1,100
開放型病床への登録医数 (人)		127	133

中期目標（内容）	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																												
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																										
イ 福岡市民病院 ○ 地域医療支援病院としての役割を果たすため、各診療科の科長が積極的に地域の医療機関を訪問するなど、より一層の連携強化に努め、紹介率は目標値に届かなかったが、逆紹介率は目標値及び前年度実績値を大幅に上回った。 ○ 開放型病床への登録医については、149人に増加したほか、平成23年度から発行を開始した季刊誌「F C H（Fukuoka City Hospital）」を継続的に発行し、その中に登録医の医療機関紹介コーナーを設けるなどにより、病診連携を推進した。 ○ オープンカンファレンスについては、主となる福岡東部オープンカンファレンスを4回開催したほか、多岐にわたって勉強会を開催した。 また、地域住民に対しての出前講座（医療講演）にも積極的に取り組んだ結果、各勉強会や出前講座への院外からの参加人数も1,363人と目標値を上回った。 ○ 地域医療連携室においては、地域の医療機関との連携強化を進めた結果、転院に関する相談件数は前年度実績5,134件を上回る5,927件に達した。 【実績値】 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td colspan="2">紹介率（％）</td><td>82.9</td><td>72.5</td></tr><tr><td colspan="2">逆紹介率（％）</td><td>81.2</td><td>111.3</td></tr><tr><td rowspan="2">オープンカン ファレンス</td><td>回 数 （回）</td><td>33</td><td>54</td></tr><tr><td>参加者数 （人）</td><td>1,057</td><td>1,363</td></tr><tr><td colspan="2">開放型病床への登 録医数（人）</td><td>138</td><td>149</td></tr></table>	指標		福岡市民病院		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	紹介率（％）		82.9	72.5	逆紹介率（％）		81.2	111.3	オープンカン ファレンス	回 数 （回）	33	54	参加者数 （人）	1,057	1,363	開放型病床への登 録医数（人）		138	149	2	3	2	4	地域の医療機関との連携強化に積極的に取り組んだこと、また、指標として特に、逆紹介率の指標が目標値を大きく上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。	
指標			福岡市民病院																												
		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値																												
紹介率（％）		82.9	72.5																												
逆紹介率（％）		81.2	111.3																												
オープンカン ファレンス	回 数 （回）	33	54																												
	参加者数 （人）	1,057	1,363																												
開放型病床への登 録医数（人）		138	149																												

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療サービス (3) 災害時等の対応
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (3) 災害時等の対応 ① 災害発生時やその他の緊急時においては、福岡市及び関係機関との連携の下、患者の受入や医療従事者の派遣など迅速かつ的確に対応し、市立病院としての役割を果たす。 ② 防災対策の点検や必要物品等の備蓄確認等を徹底し、災害対応に備えた万全な体制を維持する。 ③ 他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、医療救護活動の支援に努める。	○ 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの整備や防災訓練の実施、非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。 ○ 他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、医師や看護師等医療スタッフの派遣など医療救護活動の支援に努める。 特に、福岡市民病院においては、九州各県の主要な医療機関との間で災害支援協定を締結し、災害発生時における医療班の派遣や薬剤の提供等による相互支援体制を構築することとしており、これらに迅速に対応できるよう院内に災害時派遣医療班を組織する。

中期目標（内容）	災害発生時やその他の緊急時において、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画等に基づき、市立病院として迅速かつ的確に対応すること。 また、他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、医療救護活動の支援に努めること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
○ 災害時等の備えについては、福岡市地域防災計画等に基づき、常に適切な対応が行えるよう体制を整備するとともに、予備電源用自家発電設備の定期点検の実施など、災害発生時の対応準備に万全を期した。 ○ こども病院においては、10月に福岡市市民防災センターで新人職員を中心とした防災訓練を実施し、11月には防災担当者が福岡市消防学校で行われた防災研修に参加したほか、中央消防署の協力を得て、出火元に対応した避難シミュレーション等の防災研修を開催し、各職場から248人の参加があった。 また、3月には地震及び火災を想定した全職員による総合防災訓練を実施した。 ○ 福岡市民病院においては、院内の防災マニュアル等を随時見直すとともに、防災訓練についても、火災発生に備えた避難誘導訓練や消火器操作訓練などを年2回実施したほか、都市圏の東部地域では初となる8医療機関と4消防本部が合同で行う「集団救急事故対応合同訓練」に参加し、また、突然の重大事故や災害を想定した訓練の成果を競う「第7回福岡メディカルラリー」に出場し優勝の成績を収め、2月に東京で開催された「第1回全日本メディカルラリーチャンピオンシップ」に、九州・沖縄代表として出場するなど、より実災害に近い想定での訓練を行った。 また、4月に九州沖縄各県の主要8病院との間で、「災害時における医療機関相互応援に関する協定」を締結し、災害発生時における医療班の派遣や薬剤の提供等を目的とした相互応援体制を構築した。	1	4	1	4	災害発生時の危機管理体制の整備や防災訓練の実施に加え、福岡市民病院において、「第7回福岡メディカルラリー」で優勝したこと及び九州沖縄各県の主要8病院との間で「災害時における医療機関相互応援に関する協定」を締結するなど、災害対策の強化を図ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。	

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上 ① 患者満足度調査等を実施し、患者のニーズを的確に捉えた上で、より一層の患者サービスの向上を図る。 ② 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。 ③ 新病院については、より過ごしやすい療養空間を確保し、個室環境の整備とともに、患児家族滞在施設や駐車場の拡充を行うなど、利用者の利便性の向上を図る。 <	

中期目標（内容）	患者のニーズを的確に捉えるとともに、選ばれる病院であり続けるため、患者サービスの向上に努めること。 また、より快適な療養環境を提供するため、院内環境の整備を進めるなど、患者の利便性の向上を図ること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価										
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
ア こども病院・感染症センター ○ 患者満足度調査については、引き続き退院時アンケート調査や外来患者を対象とした待ち時間及び満足度調査を実施し、退院時アンケートの平均評価点数は目標値を達成した。また、接遇・療養環境委員会を毎月開催し、患者のニーズを分析しながら、評価内容や改善点、職種毎の評価結果等の全職員への周知や改善を行った。 ○ 地域医療連携室における医療・福祉相談業務については、保健福祉行政機関との連携を密にし、年間2,340件の相談に対応した。 また、更なる体制強化のため、看護師長経験者や病棟勤務経験者を配置することとし、平成26年度からの専従看護職員の増員に向け準備を進めた。 ○ 院内環境の整備については、新病院への移転も踏まえつつ、患者満足度調査の結果を受けて、ソフト面での対応を中心に可能な限りの対応を行った。 また、病院敷地内における禁煙パトロール及び周辺道路まで含めた清掃活動を、管理職以下の職員有志で行い、敷地内禁煙の徹底と周辺道路の環境保全に努めた。 【実績値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院・感染症センター</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)</td><td>88.0</td><td>88.0</td></tr></table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容等	指標	こども病院・感染症センター		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	88.0	1	3	2	3	毎月開催している接遇・療養環境委員会において、患者のニーズを分析し改善に努め、退院時アンケートの平均評価点数で目標値を達成し、年度計画が順調に実施されていることから「評価3」とする。
指標		こども病院・感染症センター											
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値											
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	88.0											

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上																		
中期計画		年度計画																	
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上 ① 患者満足度調査等を実施し、患者のニーズを的確に捉えた上で、より一層の患者サービスの向上を図る。 ② 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。 ③ 新病院については、より過ごしやすい療養空間を確保し、個室環境の整備とともに、患児家族滞在施設や駐車場の拡充を行うなど、利用者の利便性の向上を図る。		イ 福岡市民病院 ○ 入院患者へのサービス向上として、診療結果や職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査を実施し、その結果を踏まえながら、より一層のサービス向上を図る。 また、入院ベッドの老朽化に対処するため、計画的に更新する。 ○ 外来患者へのサービス向上として、総合窓口の機能充実を図り、きめ細かいサービスを提供するとともに、外来待合室における放送モニターの見直しを行う。 また、総合受付の再編を行い、患者動線を見直すことで、患者の利便性の向上を図る。																	
【目標値】		【目標値】																	
<table><tr><td rowspan="2">指標</td><td colspan="2">福岡市民病院</td></tr><tr><td>平成23年度 実績値</td><td>平成28年度 目標値</td></tr><tr><td>患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）</td><td>76.0</td><td>80.0</td></tr></table>		指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）	76.0	80.0	<table><tr><td rowspan="2">指標</td><td colspan="2">福岡市民病院</td></tr><tr><td>平成23年度 実績値</td><td>平成25年度 目標値</td></tr><tr><td>患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）</td><td>76.0</td><td>80.0</td></tr></table>		指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値	患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）	76.0	80.0
指標	福岡市民病院																		
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																	
患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）	76.0	80.0																	
指標	福岡市民病院																		
	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値																	
患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）	76.0	80.0																	
※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容，診療内容等		※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容，診療内容等																	

中期目標（内容）	患者のニーズを的確に捉えるとともに、選ばれる病院であり続けるため、患者サービスの向上に努めること。 また、より快適な療養環境を提供するため、院内環境の整備を進めるなど、患者の利便性の向上を図ること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価										
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
イ 福岡市民病院 ○ 入院患者へのサービス向上を目的とした、診療内容や職員の接遇、療養環境等に関する患者満足度調査を2回実施し、平均評価点数が91.3点となり、目標値を上回る評価を得た。 また、入院ベッドの老朽化に対処するため、病棟ごとの必要数や優先順位付けなど、次年度に向けた更新計画を策定した。 ○ 外来患者へのサービス向上を目的とした「外来機能改善プロジェクト」を立ち上げ、総合受付の再編、総合案内の設置、自動再来受付機の導入などを順次行い、患者導線及び利便性の向上を図った。また、外来待合室放送モニターのコンテンツを定期的に見直し、タイムリーな情報提供に努めた。 ○ 地域医療連携室において、転院や在宅支援のなどの多岐にわたる患者相談に積極的に対応した結果、相談件数は前年度の10,927件を上回る13,446件となった。 ○ 患者への情報発信として、食事に関する「栄養ニュース」、感染対策指導・啓発活動のための「ICTニュース」を毎月、サービス面の取り組みに関する「CS委員会だより」を年6回発行した。 【実績値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）</td><td>70.2</td><td>91.3</td></tr></table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容、診療内容等 〔※平成24年度までの第1期中期計画においては、主として外来患者を対象に接遇面のみでの満足度調査を行っていたが、平成25年度からの第2期中期計画においては、入院患者を対象に上記評価項目での満足度調査を行っている。〕	指標	福岡市民病院		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）	70.2	91.3	1	4	2	4	患者満足度調査の平均評価点数が目標値を大幅に上回ったことや、外来機能の改善を順次図ったことなどにより、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。
指標		福岡市民病院											
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値											
患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）	70.2	91.3											

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (2) ボランティアとの共働
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (2) ボランティアとの共働 ボランティアとの連携による植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施など，市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。	ア こども病院・感染症センター ○ ボランティアとの共働による，植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施などに取り組むとともに，入院中の子ども達への「本の読み聞かせ」の実施など病棟ボランティア活動の拡大に努める。

中期目標（内容）	ボランティアとの連携を図り，市民・患者の視点に立ったサービス向上のための取組を進めること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
ア こども病院・感染症センター ○ 各種の院内コンサートや初めてとなる院内学級での音楽教室を実施したほか，サンタクロース，アビスパ福岡，ソフトバンクホークスの選手による病棟訪問などのほか，継続的に行っている入院中の子ども達への本の読み聞かせやプレイルームにおける子どもの見守りなど，ボランティアの受け入れを積極的に行なった。 ○ 病院職員によるフラワーボランティアチームの活動を継続して行い，病院構内の植栽への散水を協働して行なうなど，ボランティアとのより一層の連携強化を図った。 ○ これまでのボランティア活動に感謝の意を表するため要綱を策定し，12月の病院クリスマス会において，14団体・3個人に感謝状を贈呈した。	1	3	1	3	各種院内コンサートの実施や，アビスパ福岡，ソフトバンクホークスの選手との交流など，ボランティアとの連携によるサービス向上が図られており，年度計画が順調に実施されていることから，「評価3」とする。

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (2) ボランティアとの共働
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (2) ボランティアとの共働 ボランティアとの連携による植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施など，市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む	イ 福岡市民病院 ○ 大学サークル等に積極的に出演交渉し，院内コンサートの回数を増やすとともに，患者対応の院内ボランティア（現在2名）を幅広く募集し，登録者の拡大を図る。

中期目標（内容）	ボランティアとの連携を図り，市民・患者の視点に立ったサービス向上のための取組を進めること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
イ 福岡市民病院 ○ 地域や福岡大学のコーラスグループ等の協力により，1回あたり20～30名の参加を得て，院内コンサートを開催した。 ○ 院内ボランティアについては，登録者の拡大には至らなかったが，従来からの2名の方に外来での患者のお世話や入院患者の話し相手になってもらったり，認知症患者の見守り等，患者とのふれあいを大切にした活動を行っていただき，より一層きめ細やかな患者サービスが提供できた。 ○ 花の植え替え等花壇の手入れを，毎月1回，4～5名のボランティアの方に行ってもらい，院内の美化に努めた。	1	3	1	3	地域や大学のコーラスグループ等の協力により院内コンサートを開催するなど，ボランティアとの連携によるサービス向上が図られており，年度計画が順調に実施されていることから，「評価3」とする。

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ① 職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。 ② 院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。 ③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。	ア こども病院・感染症センター ○ 医師が診療に専念しやすいよう、医師にかかる事務処理の負担軽減策を強化するとともに、看護師については、病棟における2交代制勤務の試行を拡充するなど、職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。 ○ 院内研修については、外部講師の活用等による内容の充実を図るとともに、できるだけ多くの職員が受講できるよう、実施回数の拡大に努める。 ○ スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、積極的に職員に資格取得を奨励する。また、認定看護師等資格取得支援制度を活用し、有資格者の拡大を図る。

中期目標(内容)	医療水準を向上させるため、医師や看護師を始め、優れた人材の確保に努めること。 また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
ア こども病院・感染症センター ○ 医師の確保については、診療機能の充実と新病院への移転を踏まえ、4月に循環器科2名、小児外科1名、小児神経科1名、産科1名の増員を行った。 また、4月から従来の一般小児科を総合診療科に改称して常勤医師1名を増員し、診療機能の強化を図るとともに、後期研修医を総合診療科所属とすることで、教育・研修体制の充実を図った。 ○ 医師事務作業補助者の外来における業務を委託化し、医師の事務作業に係る補助により傾注出来る体制を整えることで、医師の事務処理に係る負担を軽減した。 また、7月からICU、NICU、GCUの集中治療室を担当する病棟クラークを1名配置したほか、1月から外来における看護師の補助業務を委託化するなど、看護師の事務作業の負担軽減を図った。 看護師の2交代制勤務の試行拡充については、4階及び5階病棟での試行開始に向け、勤務体制等の検討を行った。 ○ 院内研修においては、外部講師の活用等による内容の充実を図るとともに、全職員が参加しやすいよう開催回数を増やすなどの工夫を行い、職員のスキルアップを図った。 ○ 中国大連市こども病院との友好協力協定に基づき、3名の中国人医師の研修を受け入れ、技術交流を行った。 ○ スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、小児薬物療法認定薬剤師や超音波検査士(循環器)等各種の資格取得を推進し、7名の医療技術者が資格を取得した。 また、認定看護師等資格取得支援制度を活用し、1名が感染管理分野で認定看護師の資格を取得したほか、2名が認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了した。	2	4	2	4	人材確保が困難な中、必要な医師を確保したこと、外国人医師との技術交流を実施したこと及び医療技術職の資格取得により専門性の向上や医療技術の向上を図ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ① 職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。 ② 院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。 ③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。	イ 福岡市民病院 ○ 認定看護師等資格取得支援制度を活用し、糖尿病や脳卒中等の専門領域における認定看護師を養成する。また、他の職種についても専門職としての知識・技術の向上を図るため、積極的に資格取得を支援し、質の高いチーム医療を提供する。 ○ 看護師及び事務職員を対象に、厚生労働省の成長分野等人材育成支援事業を活用し、「医療現場における医療安全管理技術向上研修」を実施する。 ○ 感染症病床の稼動に向け、職員に対する感染症対策の教育研修を実施し、防護技術の向上を図る。

中期目標（内容）	医療水準を向上させるため、医師や看護師を始め、優れた人材の確保に努めること。 また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
イ 福岡市民病院 ○ 医師の確保については、高度専門医療を担う地域の中核病院としての診療機能の充実を図るため、内科1名、脳神経外科1名、麻酔科1名、外科1名の増員を行った。 ○ 認定看護師の育成については、救急看護、集中ケア、皮膚・排泄ケア、脳卒中リハビリテーション看護の領域で4名が資格を取得し、救急看護、糖尿病看護、脳卒中リハビリテーション看護の領域で3名が受講を終了した。 また、検査部では2名が超音波検査士の資格を取得し、薬剤部では1名が日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師の資格を取得した。 ○ 厚生労働省の「成長分野等人材育成支援事業」を活用した「医療現場における医療安全管理技術向上研修」については、申請を行ったが採択されなかったため、実施には至らなかった。 ○ 院内における感染症防止対策を充実させるため、7月に「感染症診療と抗菌薬の適正使用」、12月に「結核について」のテーマで全職員対象の院内感染勉強会を実施した。	2	3	2	3	人材確保が困難な中において、医師等の確保を着実にを行い、認定看護師の育成や医療技術職の専門性向上を図るとともに、院内における感染症防止対策を充実させるため全職員対象の院内感染勉強会を実施するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。	

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践

中期計画	年度計画																						
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践 ① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。 ② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。 ③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。 【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院（新病院）</th></tr><tr><th>平成23年度実績値</th><th>平成28年度目標値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数（件）</td><td>3,369</td><td>4,610</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談件数（件）</td><td>278</td><td>340</td></tr></table>	指標	こども病院（新病院）		平成23年度実績値	平成28年度目標値	薬剤管理指導件数（件）	3,369	4,610	栄養食事指導・相談件数（件）	278	340	ア こども病院・感染症センター ○ 感染対策室を設置し、専従の感染管理認定看護師を配置するとともに、診療報酬上の感染防止対策加算1及び感染防止対策地域連携加算が取得できる体制を整備し、感染防止対策の強化を図る。また、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。 ○ クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。 ○ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。 【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院・感染症センター</th></tr><tr><th>平成23年度実績値</th><th>平成25年度目標値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数（件）</td><td>3,369</td><td>3,400</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談件数（件）</td><td>278</td><td>300</td></tr></table>	指標	こども病院・感染症センター		平成23年度実績値	平成25年度目標値	薬剤管理指導件数（件）	3,369	3,400	栄養食事指導・相談件数（件）	278	300
指標		こども病院（新病院）																					
	平成23年度実績値	平成28年度目標値																					
薬剤管理指導件数（件）	3,369	4,610																					
栄養食事指導・相談件数（件）	278	340																					
指標	こども病院・感染症センター																						
	平成23年度実績値	平成25年度目標値																					
薬剤管理指導件数（件）	3,369	3,400																					
栄養食事指導・相談件数（件）	278	300																					

中期目標（内容）	市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。 また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。
----------	--

	自己評価		委員会の評価		
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
ア こども病院・感染症センター					
○ 感染対策室を4月に設置して専従の感染管理認定看護師を配置し、感染防止に関する施設基準を取得するなど、感染防止対策の強化を図るとともに、地域の医療機関との合同カンファレンスの開催や相互サーベイランス（発生動向調査）を実施するなど、感染防止対策の質の向上を図った。	2	3	2	3	感染防止に関する施設基準の取得による感染防止対策の強化や地域の医療機関との合同カンファレンスの開催等により感染防止対策の質の向上を図るとともに、クリニカルパスを活用した治療内容等の可視化やインフォームド・コンセントの活用による患者中心の医療を実践するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
○ 医療安全対策については、医療安全管理室が主体となって年間6回の医療安全院内研修を実施するとともに、安全管理委員会において防止策の検討、情報収集や改善策の策定などを実施した。					
○ クリニカルパスについては、治療内容等の診療スケジュールを可視化して、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底に活用し、患者の信頼向上を図った。					
○ 薬剤師による薬剤管理指導については、昨年度に引き続き充実に努めたが、入院患者数の減少により、目標件数を下回った。栄養食事指導については、管理栄養士と主治医、病棟看護師が連携を図りながら適切に指導を行い、目標件数を上回った。					
【実績値】					
指標	こども病院・感染症センター				
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値			
薬剤管理指導件数 (件)	3,351	3,315			
栄養食事指導・相談件数 (件)	305	324			

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項																								
	3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践																								
中期計画		年度計画																							
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置		イ 福岡市民病院																							
3 医療の質の向上		○ 最新の医学的根拠を基に院内感染防止対策マニュアルの改訂を適宜行い, 院内感染防止対策の徹底を行うとともに , 感染防止対策の実施施設認定医療機関との連携強化を図り, 情報の共有化を行う。																							
(2) 信頼される医療の実践		○ 医療情報の収集・分析を容易にするため, 診療支援システムを導入し, その情報を有効に活用することで, より一層の安全・安心な医療の提供に努める。																							
① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに, 医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど, 医療安全対策の徹底を図る。		○ クリニカルパスを活用した事前説明などの内容を更に充実させるとともに, 新規パスの策定を進める。																							
② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り, 患者中心の医療を実践する。		○ 患者説明用の様式を全面的に見直すなどの工夫改善に取り組み, 十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図る。																							
③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ, 安全・安心な医療を提供する。		○ 薬剤管理指導業務や病棟薬剤業務の実施体制を強化し, 更なる質の向上を図る。																							
		○ 栄養食事指導の対象を, 糖尿病以外の疾患まで拡大し, その充実を図る。																							
【目標値】		【目標値】																							
<table><tr><td rowspan="2">指標</td><td colspan="2">福岡市民病院</td></tr><tr><td>平成23年度 実績値</td><td>平成28年度 目標値</td></tr><tr><td>薬剤管理指導件数 (件)</td><td>8, 644</td><td>8, 700</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談 件数 (件)</td><td>1, 047</td><td>1, 100</td></tr></table>		指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	薬剤管理指導件数 (件)	8, 644	8, 700	栄養食事指導・相談 件数 (件)	1, 047	1, 100	<table><tr><td rowspan="2">指標</td><td colspan="2">福岡市民病院</td></tr><tr><td>平成23年度 実績値</td><td>平成25年度 目標値</td></tr><tr><td>薬剤管理指導件数 (件)</td><td>8, 644</td><td>8, 600</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談 件数 (件)</td><td>1, 047</td><td>1, 050</td></tr></table>		指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値	薬剤管理指導件数 (件)	8, 644	8, 600	栄養食事指導・相談 件数 (件)	1, 047	1, 050
指標	福岡市民病院																								
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																							
薬剤管理指導件数 (件)	8, 644	8, 700																							
栄養食事指導・相談 件数 (件)	1, 047	1, 100																							
指標	福岡市民病院																								
	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値																							
薬剤管理指導件数 (件)	8, 644	8, 600																							
栄養食事指導・相談 件数 (件)	1, 047	1, 050																							

中期目標（内容）	市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。 また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価													
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
イ 福岡市民病院 ○ 院内感染防止対策を充実させるため、全職員対象の院内感染勉強会を2回実施したほか、第18回福岡東部オープンカンファレンスにおいて院内感染対策をテーマに講演を行った。 また、病院主催による近隣の医療機関を含めた感染対策ネットワークを継続し、カンファレンスを4回開催した。（参加者数計118人）。 ○ 医療情報システムの更新に伴って新たに導入した診療支援システムを用いて、患者誤認防止機能（PDA端末を使用した患者認証）の利用状況を分析し、その結果を現場スタッフへフィードバックすることにより、PDA端末による患者確認を徹底するなど、患者誤認防止対策の強化を図った。 ○ クリニカルパスについては、新たに糖尿病教育入院及びめまい等のパスを策定し、事前説明などの充実を図った。 ○ 院内で定める「医師のための診療指針」，「職業倫理・臨床倫理ガイドライン」に基づき、宗教的輸血拒否患者の様式を全面的に見直すとともに、新たなガイドラインを作成し、インフォームド・コンセントの徹底を図った。 ○ 薬剤管理指導については、各病棟に薬剤師が常駐して件数増加に取り組み、栄養食事指導については、指導対象の糖尿病以外の疾患（肝臓病・心臓病等）への拡大等により、それぞれ目標件数を上回った。 【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数 （件）</td><td>9,384</td><td>8,998</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談 件数（件）</td><td>1,065</td><td>1,140</td></tr></table>	指標	福岡市民病院		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	薬剤管理指導件数 （件）	9,384	8,998	栄養食事指導・相談 件数（件）	1,065	1,140	2	3	2	3	感染対策の充実のため、定期的にオープンカンファレンスを実施し近隣の医療機関との連携強化を図るとともに、新たなクリニカルパスの充実とガイドライン作成によるインフォームド・コンセントの徹底を図るなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
指標		福岡市民病院														
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値														
薬剤管理指導件数 （件）	9,384	8,998														
栄養食事指導・相談 件数（件）	1,065	1,140														

中期目標（項目）	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の向上 (3) 法令遵守と情報公開
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (3) 法令遵守と情報公開 ① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するとともに、内部統制を確実に実施することにより、適正な病院運営を行う。 ② 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応する。 ③ 法人の経営状況、両病院の役割や医療内容のほか、地域の医療機関との連携等について、ホームページや広報誌等を通じ、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりを進める。	○ 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するとともに、内部統制を確実に実施することにより、適正な病院運営を行う。 ○ 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底する。 ○ 法人の経営状況、新病院を含めた各病院の役割や医療内容のほか、地域の医療機関との連携等について、ホームページや広報誌等を通じ、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりを進める。

中期目標(内容)	市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理を確立し、適正な病院運営を行うこと。 また、個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市個人情報保護条例（平成17年福岡市条例第103号）及び福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第3号）に基づき、適切に対応すること。 さらに、病院の役割や医療内容等を積極的に情報発信するなど、市民に開かれた病院づくりに努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
○ 法人全体の業務の適正及び効率性の検証を行うため、監事（弁護士、公認会計士）による業務監査及び会計監査の実施に加え、外部の監査法人と連携して医療業務管理及び財務管理等に関する監査を実施するなど、内部統制の充実を図った。 ○ 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底した。 また、診療録の開示に際しては、関係規程に基づき、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定した。 ○ 情報発信については、こども病院において、広報誌「みらい」を定期的に発行し、希望者へのメール配信を継続するとともに、開放型病床登録医にも配布したほか、職員によるホームページのリニューアルを4月に実施し、病院の役割や医療内容等の発信に努めた。 また、10月には、「こどもを守り育てる環境を考える」をテーマに、第31回こども病院研究基金記念講演会を開催し、200人余の市民の参加を得た。 ○ 福岡市民病院においても、院内活動をまとめた年報「アイリス」や診療情報誌「ふれあい」、季刊誌「FCH」等を発行したほか、新たに診療案内のパンフレット（肝・胆・膵センター、消化器センター内科、ハートセンター、脳神経・脳卒中センター、血管外科）を作成し、近隣のクリニックや病院へ配布するなど、病院の役割や医療内容等の情報を発信するとともに、随時ホームページの更新を行い、市民に開かれた病院づくりを行った。	1	3	1	3	監事監査に加え、外部の監査法人と連携した監査を実施するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。

中期目標（項目）	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実
中期計画	年度計画
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実 ① 理事会を適正に運営し，外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。 ② 医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう，病院長のリーダーシップの下，各病院の実態に即した機動性の高い病院経営を行う。	○ 理事会を適正に運営し，外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。 ○ 医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう，病院長のリーダーシップの下，各病院の実態に即した機動性の高い病院経営を行う。

中期目標（内容）	地方独立行政法人制度の特長を活かし，各病院が自らの特性や実情を踏まえ，より機動的に業務改善ができるよう，各病院において病院長がリーダーシップを発揮し，自律性を発揮できる運営管理体制の充実を図ること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
○ 市立病院機構の運営を的確に行うため，平成25年度は理事会を9回開催し，理事会の決定方針に沿った運営を行った。 ○ また，新病院の開院や福岡市民病院の機能強化に向け，看護師・助産師の人材確保や育成等の重要課題に対処するため，4月から新たに看護部門の担当理事を設置した。 ○ 院長のリーダーシップの下，運営委員会（こども病院）や経営五役会議（福岡市民病院）の開催等により，両病院の現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行った。	1	3	1	3	理事会を定期的に行い，決定方針に沿った運営を行い，また，看護師・助産師の重要課題に対処するため，4月から新たに看護部門の担当理事を設置するとともに，院長のリーダーシップの下，両病院の現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており，年度計画が順調に実施されていることから，「評価3」とする。	

中期目標（項目）	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 2 事務部門等の専門性の向上
中期計画	年度計画
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 2 事務部門等の専門性の向上 ① 病院経営に関する知識・経験を有する人材をプロパー職員として計画的に採用し、事務部門及び経営管理部門の専門性の向上を図る。 ② 医療を取り巻く情報を的確に収集・分析し経営に反映するなどの戦略機能を強化するため、経営に関する研修やO J T（On the Job Training）の充実を図り、経営感覚に優れた職員の育成に努める。	○ 病院経営に関する知識・経験を有する人材をプロパー職員として計画的に採用し、事務部門及び経営管理部門の専門性の向上を図る。 ○ 病院経営に関する研修やO J T（On the Job Training）の充実を図り、経営感覚に優れた職員の育成に努める。 また、両病院、本部事務局間の人事異動を積極的に行い、事務部門、経営管理部門の更なる活性化による専門性の向上を図る。

中期目標（内容）	事務部門等においては、病院運営に関する専門知識や経営感覚を持ったプロパー職員の計画的な採用に努めるとともに、経営手法の企画・立案に関する戦略機能を強化するため、各病院の経営支援を的確に行える人材の育成に努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
○ 民間病院経験15年以上の者（係長級）を1名採用し、こども病院の医事課に配置したほか、医療事務経験者を1名採用し、福岡市民病院の医事課に配置するなど、診療報酬請求部門の体制強化を図った。 また、事務局間の人事異動については、経営管理部門等の人材育成を目的に、新たな業務を経験させるため両病院の事務局間において人事異動を実施した。 ○ 事務局全体の機能強化を図るため、今後の事務職員の人材育成・活性化のための方向性と具体的な取組を示した「事務職員人材育成プラン」を2月に策定した。 ○ マネジメント能力向上を目的に全職種を対象とした監督者研修を新たに企画し、事務職の係長職員を受講させたほか、両病院及び本部事務局共通の研修会を月1回開催し、事務職員の資質向上を図った。 ○ こども病院においては、事務局職員を収益向上や経費節減に係る外部研修（全国こども病院診療情報管理研究会等）に参加させたほか、病院運営に係る院内研修を定期的に開催するなど、経営感覚に優れた職員の育成に努めた。 ○ 福岡市民病院においては、病院経営に関するスキルアップのため、次世代を担う中堅職員を、一般社団法人日本病院会が開催する「病院中堅職員育成研修」に毎年参加させており、平成25年度は「人事・労務管理コース」及び「経営管理コース」にそれぞれ1名を参加させた。	1	3	1	3	病院経験者を採用し両病院の医事課に配置するとともに、両病院の人事異動を積極的に行い各部門の活性化による専門性の向上を図り、また、両病院において病院経営に関する研修への参加を推進し、事務職員の資質向上に努め、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。	

中期目標（項目）	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入
中期計画	年度計画
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入 ① 職員満足度調査等の実施により職員のニーズを把握し、職員の意欲を引き出す人事制度を構築するとともに、福利厚生の実施や職場環境の改善に努める。 ② 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度を維持し、人件費の適正化を図る。 ③ 職員の業績や貢献度等を適正に評価し、評価結果を給与に反映させる人事評価制度について、医師に本格導入するとともに、他の職種への導入についても検討を進める。	○ 平成24年度に実施した職員満足度調査の結果を踏まえ、職員のニーズに対応した福利厚生の実施や職場環境の改善に努めるとともに、職員の意欲を引き出す人事制度を構築する。 ○ 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度を維持し、人件費の適正化を図る。 ○ 平成23年度から試行中の医師を対象とした人事評価制度については、その効果等を検証し、本格導入に向けた準備を進める。

中期目標（内容）	職員の意欲を引き出す人事制度を構築し、職員の業績や能力を的確に評価するための公正かつ客観的な人事評価システムの導入に努めること。 また、病院の業績等に応じた給与制度を導入し、職員のモチベーションの維持・向上及び人件費の適正化を図ること。 さらに、福利厚生充実や職場環境の整備など、職員が働きやすい環境の確保に努めること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
○ 平成24年度に実施した職員満足度調査の結果を踏まえ、こども病院においては、各職場において職場環境の充実に向けて活用できるよう、診療科長等連絡協議会を通じて、調査結果の情報共有を行ったほか、福利厚生施設の改善要望について、できる限り新病院の設計に反映させるように努めた。 福岡市民病院においても、ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクト委員会において、残業時間の削減や院内ルールの周知徹底に取り組んだほか、病児保育に関する情報提供や支援策の検討を行った。また、別館の設計にあたっては、救急スタッフ室や更衣室などの福利厚生施設の拡充を図った。 ○ 職員の給与については、業務の実績を考慮し、かつ社会一般の情勢に適合したものとなるよう所要の改定等を行った。 ○ 医師を対象とした人事評価制度については、3年間の試行の効果等を検証し、必要な改善策を講じたうえで、平成26年度から本格導入することとした。	1	3	1	3	平成24年度に実施した職員満足度調査の結果を踏まえ、両病院において福利厚生施設の拡充や職場環境の改善に努め、また、職員の給与について、社会一般情勢に適合するよう所要の改定等を行うとともに、医師の人事評価制度を平成26年度から本格導入するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。	

中期目標（項目）	第4 財務内容の改善に関する事項 1 経営基盤の強化 (1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 1 経営基盤の強化 (1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立 ① 運営費負担金の対象となる不採算医療部門については、収支差の圧縮に向けた更なる経営の効率化に取り組み、運営費負担金の縮減に努める。 ② 新病院の開院に伴う施設整備費の償還など、今後、運営費負担金の増額要因が加わるため、新病院稼働後は早期の安定経営を目指すことに加え、市立病院機構全体でこれまで以上の経営努力を行う。	○ 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤を確立するため、不採算医療部門については、収支差の圧縮に向け、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。 また、部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底する。

中期目標（内容）	福岡市の厳しい財政状況を踏まえると、引き続き市立病院機構全体の運営費負担金の縮減が求められることから、更なる経営の効率化や健全化に向けた取組を進め、安定した経営基盤を確立すること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
○ 毎月、法人の経営幹部（理事長、副理事長、本部事務局長、病院事務局長、看護部長）で構成する「経営会議」を開催し、月次の経営管理諸表により、随時、経営状況を検証するとともに、四半期ごとに課題を分析のうえ、適切な改善策を講じるなどの経営管理を徹底し、効率的な病院経営を行った。 ○ 両病院において、積極的な増収対策や費用削減に取り組んだ結果、平成24年度に引き続き、市からの運営費負担金繰入後の経常黒字を達成した。 ア こども病院・感染症センター ○ 年度目標の達成に向け、院内での運営委員会や診療科長等情報連絡協議会において情報の共有を図り、経営情報の迅速な把握に努めるとともに、年度計画を基に部門ごとに具体的な目標を設定し、達成度を評価するなど経営管理を徹底した。 ○ D P C（入院医療費の定額支払い制度）分析ソフトを活用し、診療報酬改定等による増減収の分析や適切なD P Cコーディング（診断群分類番号の設定）の検証を行うとともに、他のこども病院とのベンチマーク分析等を実施し、戦略的な経営改善に努めた。 イ 福岡市民病院 ○ 月2回の経営五役会議においては、経営改善のために取り組むべき喫緊の課題を明確にし、具体的な実施項目を設け、その達成状況を適宜確認した。 ○ 毎月の所属長会議において、効率的な経営を行うために、病院全体及び部門ごとのモニタリング資料を提示し、情報を共有することにより病院全体で経営基盤の確立に努めた。 また、診療科毎に院長ヒアリングを臨時のヒアリングを含め年2回以上実施し、診療内容や経営に関する具体的な目標設定と達成状況の確認を行い、経営管理を徹底させた。	1	3	2	3	毎月、経営幹部で構成する「経営会議」を開催し、経営状況の検証を行い、改善策を講じるなど経営管理を徹底し、効率的な病院経営を行うとともに、両病院において積極的な増収対策や費用削減に取り組んだ結果、平成24年度に引き続き、運営費負担金繰入後の経常黒字を達成し、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。

中期目標（項目）	第4 財務内容の改善に関する事項 1 経営基盤の強化 (2) 投資財源の確保
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 1 経営基盤の強化 (2) 投資財源の確保 独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。	○ 独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の施設整備や高額医療機器の更新等に関する計画を踏まえた自己財源の確保に努める。

中期目標（内容）	施設整備や高額医療機器の更新など、今後の投資計画を踏まえながら、自己財源の確保に努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
○ 自己財源の確保対策として、収支改善による利益の確保とともに、複数の金融機関を対象に定期預金の利率の入札を新たに実施し、従来を大幅に上回る利率による積立金の運用を行った。 ○ 今後の施設整備や高額医療機器の更新等に充当するための医療機器等購入積立金として、6億9,921万円余の積立を行い、第1期中期目標期間の期末からの繰越分と合わせて、総額約22億円となった。	1	3	1	3	自主財源の確保対策として、収支改善による利益確保と入札の実施による従来を上回る定期預金利率での積立金の運用を行い、年度計画が順調に実施されていることから「評価3」とする。	

中期目標（項目）	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (1) 増収
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (1) 増収 ① 診療体制の充実等による医療の高度化に取り組むとともに、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。 ② 診療報酬改定等の医療情勢の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、収入の確保に努める。 ③ 診療報酬請求に係るチェック体制を強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。 ④ こども病院については、新病院への移転に伴い、患者の安全を最優先とするため、移転前後は診療行為の一部が制限されるが、その影響を最小限に止めるよう努力する。 ⑤ 福岡市民病院については、年々増加傾向にある市内の救急搬送状況に対応するため、救急部の医師・看護師を増員するとともに救急診療室を拡張し、救急搬送受入件数の拡大を図る。	ア こども病院・感染症センター ○ 平成24年11月に増床したICU2床の本格的な稼働を開始するとともに、各病棟においてより一層の効率的なベットコントロールに努め、収入増を図る。 また、治験業務について、小児治験ネットワークへの積極的な参加を推進し、治験収入の増に努める。 ○ 感染管理認定看護師を配置した感染対策室を新設し、感染防止対策加算1及び感染防止対策地域連携加算の施設基準を取得する。 ○ レセプトチェックシステムを最大限に活用し、医師との情報共有及び連携強化によって診療報酬請求の精度向上を図る。 また、医療ソーシャルワーカーによる患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、未収金に対しては、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の活用等により確実な回収を図る。

中期目標（内容）	診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、増収を目指すこと。 また、医療費の未収金発生の防止や確実な回収に努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
ア こども病院・感染症センター ○ 外来収益に関しては、外来患者数は増加したものの、高額薬剤の使用件数の減少などにより外来単価が減少した。入院収益に関しては、流行性感染症患者数の減少等により入院患者数が減少したものの、入院単価が向上したこと等により、医業収益については、目標値を8,478万円上回る62億1,819万円となった。 ○ 8床に増床したICUについては、看護師配置の都合により、7床での運用にとどまっているものの、積極的に手術症例を受け入れるべく、効率的なベットコントロールに努め、特に心臓血管外科の手術件数については、前年度を24件上回り、収入増につながった。 ○ 治験業務については、独自に治験コーディネーターを育成する等、積極的な推進を図っており、治験収入も、前年度の313万円から364万円と増加した。 ○ 感染対策室の設置及び専従の感染管理認定看護師の配置により、感染防止対策加算1及び感染防止対策地域連携加算の施設基準を取得し、年間で1,270万円余の増収となった。 ○ レセプトチェックシステムを最大限に活用し査定減の内容分析・対策を行った。また、医師との情報共有及び連携強化によって診療報酬請求の精度向上を図った。 また、督促業務に精通した事務職員を配置し、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、電話、文書による督促や個別相談の実施等により、確実な回収を図った。	2	3	2	4	高額薬剤の使用件数の減少などにより外来単価が減少したものの、新規施設基準の取得などにより、予算を上回る医業収益を確保しており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。	

中期計画			年度計画		
【目標値】《再掲》			【目標値】《再掲》		
指標	こども病院（新病院）		指標	こども病院・感染症センター	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	100,367	97,700	1人1日当たり 入院単価（円）	100,367	100,000
1人1日当たり 外来単価（円）	11,966	12,900	1人1日当たり 外来単価（円）	11,966	12,000
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	145.9 (76.8)	208.5 (89.5)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	145.9 (76.8)	146.0 (76.8)
新規入院患者数（人）	4,899	6,400	新規入院患者数（人）	4,899	4,890
平均在院日数（日）	9.9	11.9	平均在院日数（日）	9.9	10.9
1日当たり 外来患者数（人）	276.7	387.4	1日当たり 外来患者数（人）	276.7	267.0
手術件数（件）	2,212	2,720	手術件数（件）	2,212	2,170
救急搬送件数（件）	639	1,020	救急搬送件数（件）	639	690

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
【実績値】《再掲》 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院・感染症センター</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>100,689</td><td>105,974</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>13,350</td><td>11,468</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>141.6 (74.5)</td><td>140.1 (73.7)</td></tr><tr><td>新規入院患者数 （人）</td><td>4,599</td><td>4,554</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>10.2</td><td>10.2</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>269.6</td><td>274.8</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,155</td><td>2,123</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>630</td><td>577</td></tr></table>	指標	こども病院・感染症センター		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	100,689	105,974	1人1日当たり 外来単価（円）	13,350	11,468	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	141.6 (74.5)	140.1 (73.7)	新規入院患者数 （人）	4,599	4,554	平均在院日数（日）	10.2	10.2	1日当たり 外来患者数（人）	269.6	274.8	手術件数（件）	2,155	2,123	救急搬送件数（件）	630	577					
指標		こども病院・感染症センター																																
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値																																
1人1日当たり 入院単価（円）	100,689	105,974																																
1人1日当たり 外来単価（円）	13,350	11,468																																
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	141.6 (74.5)	140.1 (73.7)																																
新規入院患者数 （人）	4,599	4,554																																
平均在院日数（日）	10.2	10.2																																
1日当たり 外来患者数（人）	269.6	274.8																																
手術件数（件）	2,155	2,123																																
救急搬送件数（件）	630	577																																

中期目標（項目）	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (1) 増収
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (1) 増収 ① 診療体制の充実等による医療の高度化に取り組むとともに、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。 ② 診療報酬改定等の医療情勢の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、収入の確保に努める。 ③ 診療報酬請求に係るチェック体制を強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。 ④ こども病院については、新病院への移転に伴い、患者の安全を最優先とするため、移転前後は診療行為の一部が制限されるが、その影響を最小限に止めるよう努力する。 ⑤ 福岡市民病院については、年々増加傾向にある市内の救急搬送状況に対応するため、救急部の医師・看護師を増員するとともに救急診療室を拡張し、救急搬送受入件数の拡大を図る。	イ 福岡市民病院 ○ 手術室の体制整備により、難易度や専門性の高い手術件数の増加を図る。 ○ がん患者の手術件数増加に伴い、がん患者に対するリハビリテーション機能の強化・充実を図る。 ○ 紹介率向上のため、地域医療連携の強化・充実を図り、新規入院患者数の増加を目指す。 ○ 救急部門の医師や看護師を増員し、救急搬送受入件数の増加を目指す。 ○ 地域医療支援病院として、開放型病床の更なる利用促進を図るとともに、回復期リハビリテーション病院との共同診療の推進により、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率の向上を図る。 ○ 認定看護師の配置や医師事務作業補助者の増員等により、呼吸ケアチーム加算及び褥瘡ハイリスク患者ケア加算の施設基準を取得し増収を図る。 ○ 診療情報システムやレセプト点検システムの活用による、請求漏れ診療費の把握や査定減防止のためのレセプト点検を強化し、診療報酬の適正化を図る。 ○ 医療ソーシャルワーカーによる患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、未収金に対しては、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の活用等により確実な回収を図る。

中期目標（内容）	診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、増収を目指すこと。 また、医療費の未収金発生の防止や確実な回収に努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
イ 福岡市民病院 ○ 医業収益については、入院患者数の減少及び入院単価の目標未達成等により、前年度実績を約1億5,300万円下回る約48億8,600万円となった。 ○ がん患者の手術件数増加に伴い、がん患者のリハビリテーションを強化し、目標値2,400件に対し実績は2,823件に達した。 ○ 救急部門に関しては、救急指導医と救急専門医を1名ずつ配置したほか、救急認定看護師を2名配置するなど体制強化を図った結果、救急搬送件数は目標値を上回った。 ○ 地域医療支援病院としての活動は、開放型病床の利用や高度医療機器の稼働率の向上を図った。 ○ 高度専門医療の拡充については、10月に脳血管内治療の専門医を配置したことにより、脳血管内治療が常時可能となり、治療件数が24件（平成24年度2件）に増加した。 ○ 5月からの褥瘡ハイリスク患者ケア加算の施設基準の取得や看護職員夜間配置加算12対1及び急性期看護補助体制加算25対1の維持に努めた結果、診療報酬の増収に繋がった。 ○ 診療報酬請求漏れや査定減対策として、レセプト点検システムや内容分析ツールを効率的に活用することで、レセプト点検を強化し、診療報酬の適正化を図った。 ○ 未収金対策については、医療ソーシャルワーカーの活用による発生防止など従来の取り組みを継続するとともに、少額訴訟を2件行った。	2	3	2	3	入院患者数及び入院単価の減により医業収益については、前年度実績を約1億5,300万円下回る約48億8,600万円となったが、手術件数、救急搬送件数が目標値を上回るとともに、診療報酬請求の適正化や未収金対策にも取り組んでおり、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。

中期計画			年度計画		
【目標値】 《再掲》			【目標値】 《再掲》		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	57,617	64,500	1人1日当たり 入院単価（円）	57,617	62,000
1人1日当たり 外来単価（円）	15,413	16,000	1人1日当たり 外来単価（円）	15,413	16,000
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)
新規入院患者数（人）	4,386	4,900	新規入院患者数（人）	4,386	4,600
平均在院日数（日）	12.6	11.6	平均在院日数（日）	12.6	12.1
1日当たり 外来患者数（人）	236.5	250.0	1日当たり 外来患者数（人）	236.5	247.0
手術件数（件）	2,619	2,750	手術件数（件）	2,619	2,650
救急搬送件数（件）	2,323	3,100	救急搬送件数（件）	2,323	2,400

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
【実績値】《再掲》 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>59,485</td><td>59,254</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>15,746</td><td>16,141</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>184.5 (92.3)</td><td>177.9 (88.9)</td></tr><tr><td>新規入院患者数（人）</td><td>4,527</td><td>4,349</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>12.1</td><td>11.8</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>248.9</td><td>242.8</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,742</td><td>2,761</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>2,429</td><td>2,472</td></tr></table>	指標	福岡市民病院		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	59,485	59,254	1人1日当たり 外来単価（円）	15,746	16,141	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	184.5 (92.3)	177.9 (88.9)	新規入院患者数（人）	4,527	4,349	平均在院日数（日）	12.1	11.8	1日当たり 外来患者数（人）	248.9	242.8	手術件数（件）	2,742	2,761	救急搬送件数（件）	2,429	2,472					
指標		福岡市民病院																																
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値																																
1人1日当たり 入院単価（円）	59,485	59,254																																
1人1日当たり 外来単価（円）	15,746	16,141																																
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	184.5 (92.3)	177.9 (88.9)																																
新規入院患者数（人）	4,527	4,349																																
平均在院日数（日）	12.1	11.8																																
1日当たり 外来患者数（人）	248.9	242.8																																
手術件数（件）	2,742	2,761																																
救急搬送件数（件）	2,429	2,472																																

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (2) 費用削減
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (2) 費用削減 ① 診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底、契約手法や委託業務の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。 ② 両病院ともに施設・設備のアセットマネジメントを推進する。 ③ 新病院開院後は本部事務局を新病院内に移転するため、病院事務局との業務分担を再編し、本部機能及び病院運営に係る事務処理を効率的・効果的に遂行できる組織体制を構築する。	○ コストパフォーマンスを考慮した診療材料の選定や診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底、契約手法や委託業務の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。 ○ 施設・設備のアセットマネジメントを推進するとともに、省エネ対策への更なる取組により、維持修理に係る費用の削減を図る。 ○ 新病院で必要となる医療機器や医療情報システムの調達にあたっては、機種を選定や契約方法等を工夫するとともに、価格交渉を徹底し、購入費用の削減を図る。

中期目標（内容）	地方独立行政法人の会計制度を活用した効果的・効率的な事業運営に努めるとともに、効果的な費用の削減に努めること。 また、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化などのアセットマネジメントを推進すること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
人事管理や給与支給事務など両病院に共通する業務については、本部事務局において集約して執行するなど、法人全体でより効率的な事業運営に努めるとともに、両病院においても、以下のとおり徹底した費用削減に取り組んだ。 ア こども病院・感染症センター ○ コストパフォーマンスを考慮した診療材料等の選定とともに、調達に係る価格交渉の徹底、契約手法や委託業務の見直しなどの実施により、材料費対医業収益比率、委託費対医業収益比率ともに目標値を上回った。 ○ 新病院移転を踏まえ、施設・設備に係る維持修理費用を可能な限り節減するとともに、LED照明の使用やこまめな節電等により使用電力節減に努めた。 ○ 新病院の医療情報システムについては、経費節減の観点から9月までに契約を完了させ、医療機器購入については、外部コンサルタントの助言も得ながら機種選定や機器組み合わせを厳選し、購入費用の節減を図った。 イ 福岡市民病院 ○ 診療材料等の調達について外部コンサルタントを活用した価格交渉を行い、材料費対医業収益比率は目標を達成し、また、医療機器等の年間保守契約の見直しなどにより、委託費対医業収支比率は目標値を上回った。 給与費対医業収益比率については、チーム医療推進のための人材確保により給与費が上昇し、目標値を下回った。 ○ ジェネリック医薬品の使用拡大については、新たに22品目の切り替えを行い、目標値を上回った。 ○ 建物及び電気・給排水設備の計画的な維持修理・更新による施設の長寿命化や投資の標準化を図り、アセットマネジメントを推進した。	2	3	2	4	人事管理や給与支給事務など両病院に共通する業務については、本部事務局において集約して執行するなど、法人全体でより効率的な事業運営に努めるとともに、両病院においても年度計画に基づいて徹底した費用削減に取り組み、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。

中期計画			年度計画		
【目標値】 (単位：％)			【目標値】 (単位：％)		
指標	こども病院 (新病院)		指標	こども病院・感染症センター	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
給与費対医業収益比率	56.0	52.8	給与費対医業収益比率	56.0	58.7
材料費対医業収益比率	18.6	20.9	材料費対医業収益比率	18.6	19.2
うち薬品費対医業収益比率	6.6	7.5	うち薬品費対医業収益比率	6.6	6.9
うち診療材料費対医業収益比率	11.5	12.4	うち診療材料費対医業収益比率	11.5	12.1
委託費対医業収益比率	6.1	11.2	委託費対医業収益比率	6.1	8.3
ジェネリック医薬品導入率	6.8	8.0	ジェネリック医薬品導入率	6.8	7.0
【目標値】 (単位：％)			【目標値】 (単位：％)		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
給与費対医業収益比率	53.9	54.2	給与費対医業収益比率	53.9	55.4
材料費対医業収益比率	25.4	24.0	材料費対医業収益比率	25.4	24.2
うち薬品費対医業収益比率	9.0	8.6	うち薬品費対医業収益比率	9.0	8.6
うち診療材料費対医業収益比率	16.3	15.3	うち診療材料費対医業収益比率	16.3	15.5
委託費対医業収益比率	7.4	7.6	委託費対医業収益比率	7.4	7.4
ジェネリック医薬品導入率	22.8	30.0	ジェネリック医薬品導入率	22.8	26.0

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																																																
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																																														
【実績値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院・感染症センター</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>給与費対医業収益比率</td><td>56.0</td><td>55.3</td></tr><tr><td>材料費対医業収益比率</td><td>18.2</td><td>18.4</td></tr><tr><td>うち薬品費対医業収益比率</td><td>6.6</td><td>6.5</td></tr><tr><td>うち診療材料費対医業収益比率</td><td>11.3</td><td>11.7</td></tr><tr><td>委託費対医業収益比率</td><td>7.3</td><td>7.1</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品導入率</td><td>6.8</td><td>7.6</td></tr></table> 【実績値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成24年 度</th><th>平成25年度 実績値</th></tr><tr><td>給与費対医業収益比率</td><td>56.2</td><td>58.6</td></tr><tr><td>材料費対医業収益比率</td><td>23.8</td><td>24.2</td></tr><tr><td>うち薬品費対医業収益比率</td><td>9.1</td><td>8.7</td></tr><tr><td>うち診療材料費対医業収益比率</td><td>14.6</td><td>15.4</td></tr><tr><td>委託費対医業収益比率</td><td>7.4</td><td>6.6</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品導入率</td><td>25.1</td><td>27.2</td></tr></table>	指標	こども病院・感染症センター		平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	給与費対医業収益比率	56.0	55.3	材料費対医業収益比率	18.2	18.4	うち薬品費対医業収益比率	6.6	6.5	うち診療材料費対医業収益比率	11.3	11.7	委託費対医業収益比率	7.3	7.1	ジェネリック医薬品導入率	6.8	7.6	指標	福岡市民病院		平成24年 度	平成25年度 実績値	給与費対医業収益比率	56.2	58.6	材料費対医業収益比率	23.8	24.2	うち薬品費対医業収益比率	9.1	8.7	うち診療材料費対医業収益比率	14.6	15.4	委託費対医業収益比率	7.4	6.6	ジェネリック医薬品導入率	25.1	27.2					
指標		こども病院・感染症センター																																																	
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値																																																	
給与費対医業収益比率	56.0	55.3																																																	
材料費対医業収益比率	18.2	18.4																																																	
うち薬品費対医業収益比率	6.6	6.5																																																	
うち診療材料費対医業収益比率	11.3	11.7																																																	
委託費対医業収益比率	7.3	7.1																																																	
ジェネリック医薬品導入率	6.8	7.6																																																	
指標	福岡市民病院																																																		
	平成24年 度	平成25年度 実績値																																																	
給与費対医業収益比率	56.2	58.6																																																	
材料費対医業収益比率	23.8	24.2																																																	
うち薬品費対医業収益比率	9.1	8.7																																																	
うち診療材料費対医業収益比率	14.6	15.4																																																	
委託費対医業収益比率	7.4	6.6																																																	
ジェネリック医薬品導入率	25.1	27.2																																																	

中期目標（項目）	第4 財務内容の改善に関する事項
	2 収支改善

中期計画	年度計画																																																								
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (3) 収支改善 増収対策及び費用削減の取組を徹底し，純利益の確保に努める。 【目標値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院（新病院）</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>110.3</td><td>101.9</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>110.9</td><td>101.9</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>92.9</td><td>92.2</td></tr></table> 【目標値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>114.9</td><td>107.5</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>115.4</td><td>108.3</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>100.7</td><td>98.8</td></tr></table>	指標	こども病院（新病院）		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	総収支比率	110.3	101.9	経常収支比率	110.9	101.9	医業収支比率	92.9	92.2	指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	総収支比率	114.9	107.5	経常収支比率	115.4	108.3	医業収支比率	100.7	98.8	○ 増収対策及び費用削減の取組を徹底し，純利益の確保に努める。 【目標値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院・感染症センター</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成25年度 目標値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>110.3</td><td>103.8</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>110.9</td><td>104.2</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>92.9</td><td>89.0</td></tr></table> 【目標値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成25年度 目標値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>114.9</td><td>108.4</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>115.4</td><td>109.3</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>100.7</td><td>98.5</td></tr></table>	指標	こども病院・感染症センター		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値	総収支比率	110.3	103.8	経常収支比率	110.9	104.2	医業収支比率	92.9	89.0	指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成25年度 目標値	総収支比率	114.9	108.4	経常収支比率	115.4	109.3	医業収支比率	100.7	98.5
指標		こども病院（新病院）																																																							
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																																																							
総収支比率	110.3	101.9																																																							
経常収支比率	110.9	101.9																																																							
医業収支比率	92.9	92.2																																																							
指標	福岡市民病院																																																								
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																																																							
総収支比率	114.9	107.5																																																							
経常収支比率	115.4	108.3																																																							
医業収支比率	100.7	98.8																																																							
指標	こども病院・感染症センター																																																								
	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値																																																							
総収支比率	110.3	103.8																																																							
経常収支比率	110.9	104.2																																																							
医業収支比率	92.9	89.0																																																							
指標	福岡市民病院																																																								
	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値																																																							
総収支比率	114.9	108.4																																																							
経常収支比率	115.4	109.3																																																							
医業収支比率	100.7	98.5																																																							

中期目標（内容）	
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
ア こども病院・感染症センター ○ 適正な施設基準の取得及び維持，効率的なベットコントロール等による手術症例の受け入れ促進や，D P Cデータ等を活用した経営分析の実施などによる増収対策とともに，コストパフォーマンスを考慮した診療材料等の選定とともに，調達に係る価格交渉の徹底など費用削減に取り組んだ結果，当期純利益約7億4,000万円を確保し，経営に関するすべての指標において目標値を達成した。	2	3	2	4	両病院において，年度計画に基づいた増収対策及び費用削減の取り組みを徹底し，収益の確保に努め，法人として予算を上回る当期純利益を確保していることから，年度計画を上回って実施していると判断し，「評価4」とする。
イ 福岡市民病院 ○ 増収対策及び費用削減に積極的に取り組んだが，医業収益が見込みを下回ったことから，経営に関する3指標の目標値は達成できなかったものの，当期純利益約3億6,900万円を確保した。					
【実績値】（単位：％）					
指標	こども病院・感染症センター				
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値			
総収支比率	110.8	111.0			
経常収支比率	112.2	111.1			
医業収支比率	93.9	95.5			
【実績値】（単位：％）					
指標	福岡市民病院				
	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値			
総収支比率	114.0	107.0			
経常収支比率	114.5	107.4			
医業収支比率	100.1	96.4			

中期目標（項目）	第5 その他業務運営に関する重要事項 1 新病院の整備及び運営に関する取組
中期計画	年度計画
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置 1 新病院の整備及び運営に関する取組 ① 新病院の整備については、平成26年11月の開院を目指し、防災対策も含め、着実に事業を進めていく。 ② 市民に親しまれる病院づくりを推進するため、市民や医療関係者等に対し、新病院の概要や医療機能の拡充内容などを積極的に情報発信する。 ③ 新病院では医師、看護師を始め医療従事者の増員が必要となるため、開院後の稼働状況に合わせた段階的な採用により医療従事者を確保していく。 ④ 小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすために必要な病床の確保などの適切な対応に努める。	○ 新病院の整備については、建設中の施工確認を適切に行うとともに、株式会社FCHパートナーズとの連携強化を図りながら、院内に設置の新病院準備委員会や各運営検討会等の開催を通じて、施設に応じた運営計画や防災計画の検討を進めるなど、開院に向けた準備を着実に進めていく。 ○ 新病院に関する情報発信については、市民に親しまれる病院づくりを推進するため、市民や医療関係者等に対し、新病院の概要や医療機能の拡充内容などを、ホームページや広報誌等を利用し、積極的に情報発信する。 ○ 平成26年11月の開院に向け、計画的に医療従事者を確保していく。 ○ 小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすために必要な病床の確保などの適切な対応に努める。

中期目標(内容)	新病院の整備については、こども病院移転計画調査委員会において指摘のあった防災対策などについて十分配慮し、株式会社FCHパートナーズとの連携強化を図りながら、平成26年11月の開院を目指すとともに、地域住民に対する積極的な情報発信などにより、市民に親しまれる病院づくりに努めること。 また、開院後において、円滑な病院運営及び質の高いサービスの提供を行えるよう、医療従事者の確保など、必要な取組を着実にを行うこと。 さらに、小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすため、引き続き必要となる病床の確保に努めること。
-----------------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
【新病院の整備及び運営】 ○ 病院本体工事については、施工確認・進捗管理を適切に行い、躯体工事を3月末に終了した。 ○ 株式会社FCHパートナーズと共に設置した維持管理部会において、防災管理者設置に向けた検討や備蓄燃料等に関する検討等を進めた。 ○ PFI対象外の運営業務について、以下のとおり進めた。 ・情報システムについては、6月に開発業者を決定し、システム構築のための業務ごとのワーキンググループを設置し、検討を進めた。 ・医療機器の調達については、新病院準備委員会において優先度や仕様等を審議・決定し、順次、入札を行った。 ・医療関連業務委託については、新病院準備委員会において委託対象業務、仕様、選定方法等を審議・決定し、入札手続きを進めた。 ・開院準備については、1年前調査として移転1年前の同曜日の患者の状況把握を行うとともに、新病院までの所要時間についての経路調査を行った。 ○ 患児家族滞在施設(ふくおかハウス)については、5月に募金委員会を設立し募金活動を行った。募金活動に関する広報活動とともに、新病院の概要等についても、ホームページや広報誌など各種媒体を活用し、積極的な情報発信に努めた。 ○ 新病院の医療機能の強化に向け、新病院で開設予定の総合診療科を前倒しで開設し、常勤医師を1名増員したほか、産科の常勤医師を1名増員し、国立の高度専門医療機関へ双胎間輸血症候群の胎内治療の研修に6か月間派遣する等、新病院へ向けた医療機能の強化を図った。 ○ 福岡県医療審議会や福岡県周産期医療協議会などの審議内容等、小児医療・周産期医療を取り巻く状況や医療環境に関しての情報収集や動向把握を行った。	2	3	2	3	病院本体工事については、施工確認・進捗管理を適切に行い、運営業務についても部門別に準備を進めており、平成26年11月の開院に向けて着実に事業の進捗が図られていることから「評価3」とする。

中期目標（項目）	第5 その他業務運営に関する重要事項 2 福岡市民病院における経営改善の推進
中期計画	年度計画
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置 2 福岡市民病院における経営改善の推進 ① 福岡市民病院については、引き続き高度専門医療、高度救急医療を提供するとともに、福岡市における感染症医療の一翼を担うなど、市立病院として求められる役割を果たす。 ② 平成23年度の医業収支黒字化を踏まえ、引き続き経営の効率化に努める。	○ 市立病院として求められる役割を果たすため、引き続き高度専門医療、高度救急医療を提供するとともに、第二種感染症病床（4床）の設置や救急部門の機能拡充に向け、施設の拡張工事に着手する。 ○ 引き続き経営の効率化を図り、医業収支の更なる改善に努める。

中期目標（内容）	福岡市民病院の経営改善については、地方独立行政法人化後2年目で病院開設以来初となる医業収支の黒字化を達成するなど、順調に進んでいるところであるものの、福岡市の厳しい財政状況を踏まえ、市立病院として担うべき医療を着実にやりながら、引き続き経営の効率化に努めること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																						
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																				
【福岡市民病院における経営改善】 ○ がんや脳卒中など地域医療計画における4疾病への対応を中心に高度専門医療を提供し、特に、すべての神経疾患・神経外傷に対応した脳神経・脳卒中センターにおいては、地域医療連携パスの発行数も市内医療機関で最多となるなど、病病連携をより一層強化した。治療法の充実とともに、福岡都市圏における脳神経・脳卒中センターとしての確固たる地位の確立に向け、医療機能の拡充に努めた。 高度救急医療に関しては、救急指導医と救急専門医を1名ずつ配置したことにより、日本救急医学会救急科専門医指定施設の認定を取得するなど、提供体制の強化・充実を図った。 また、年々増加する救急搬送（25年度：2,472件）に対して積極的に受け入れを行い、市内でも有数の救急医療機関の一つとしての役割を担った。 ○ 第二種感染症病床（4床）の設置や救急部門の機能拡充に向けた施設拡張工事に着手するなど、更なる救急医療体制の提供に向け準備を進めた。 ○ 医業収益については、入院患者数の減少及び入院単価の目標未達成等により、対前年度約1億5,300万円の減となったが、医業費用において、材料費の価格交渉の徹底や保守点検の見直しなど費用削減を行ったことにより、医業収支比率の大幅な落ち込みを回避することができた。 【医業収支比較】（単位：百万円） <table><tr><th>区分</th><th>平成24年度</th><th>平成25年度</th><th>比較</th></tr><tr><td>医業収益 a</td><td>5,039</td><td>4,886</td><td>▲153</td></tr><tr><td>営業費用 b</td><td>5,034</td><td>5,066</td><td>32</td></tr><tr><td>差引（a－b）</td><td>5</td><td>▲180</td><td>－</td></tr><tr><td>医業収支比率（a／b）</td><td>100.1</td><td>96.4</td><td>－</td></tr></table>	区分	平成24年度	平成25年度	比較	医業収益 a	5,039	4,886	▲153	営業費用 b	5,034	5,066	32	差引（a－b）	5	▲180	－	医業収支比率（a／b）	100.1	96.4	－	2	3	2	3	脳神経・脳卒中センターにおける地域医療連携パスの発行等により病病連携をより一層強化し医療機能の拡充に努めるとともに、高度救急医療に関して救急指導医と救急専門医を1名ずつ配置し提供体制の強化・充実を図った。医業収益は減となったものの、様々な費用削減により、医業費用における医業収支比率の落ち込みを回避しており、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
区分	平成24年度	平成25年度	比較																						
医業収益 a	5,039	4,886	▲153																						
営業費用 b	5,034	5,066	32																						
差引（a－b）	5	▲180	－																						
医業収支比率（a／b）	100.1	96.4	－																						

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
収入			
営業収益	12,423	12,201	△222
医業収益	11,333	11,110	△224
運営費負担金収益	1,049	1,049	0
補助金収益	38	39	1
寄付金収益	2	2	0
営業外収益	190	201	11
運営費負担金収益	112	112	0
その他営業外収益	78	88	11
資本収入	1,002	387	△615
長期借入金	1,002	239	△763
その他資本収入	0	148	148
その他収入	0	0	0
計	13,615	12,789	△826
支出			
営業費用	11,125	10,660	△465
医業費用	10,949	10,522	△427
給与費	6,552	6,448	△104
材料費	2,535	2,453	△82
経費	1,786	1,561	△225
資産減耗費	1	0	△1
研究研修費	75	59	△15
一般管理費	176	138	△38
給与費	103	90	△14
経費	72	48	△24
営業外費用	198	181	△17
資本支出	2,439	1,839	△600
建設改良費	1,721	1,121	△600
給与費	102	93	△10
その他	1,618	1,028	△590
償還金	718	718	0
その他資本支出	0	0	0
その他の支出	47	4	△43
計	13,809	12,684	△1,125

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがある。

2 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
収益の部	13,335	13,115	△220
営業収益	13,145	12,918	△228
医業収益	11,333	11,104	229
運営費負担金収益	1,049	1,049	0
補助金収益	40	42	2
資産見返負債戻入※	722	722	0
営業外収益	190	198	8
運営費負担金収益	112	112	0
その他営業外収益	78	85	8
臨時利益	0	0	0
費用の部	12,635	12,006	△628
営業費用	12,362	11,580	△781
医業費用	12,185	11,442	△743
給与費	6,477	6,302	△175
材料費	2,535	2,327	△208
経費	1,789	1,474	△315
減価償却費	1,308	1,281	△27
資産減耗費	1	1	0
研究研修費	75	57	△18
一般管理費	177	138	△38
営業外費用	198	401	202
臨時損失	75	26	△49
純利益	701	1,109	408
目的積立金取崩額	0	0	0
純利益	701	1,109	408

(注1) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

(注2) 減価償却費の決算1,281百万円は、※印の資産見返負債戻入相当額722百万円を含む。

3 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
資金収入	15,650	15,348	△302
業務活動による収入	12,613	12,124	△489
診療業務による収入	11,333	11,142	△191
運営費負担金による収入	1,162	1,162	0
その他の業務活動による収入	118	△180	△298
投資活動による収入	0	800	800
運営費負担金による収入	0	0	0
その他の投資活動による収入	0	800	800
財務活動による収入	1,002	239	△763
長期借入れによる収入	1,002	239	△763
その他の財務活動による収入	0	0	0
前期中期目標の期間からの繰越金	2,035	2,185	150
資金支出	15,650	15,348	△302
業務活動による支出	11,370	11,308	△62
給与費支出	6,656	6,421	△235
材料費支出	2,535	2,360	△175
その他の業務活動による支出	2,179	2,527	348
投資活動による支出	1,751	2,734	983
有形固定資産取得による支出	1,721	704	△1,017
その他の投資活動による支出	30	2,030	2,000
財務活動による支出	688	703	15
長期借入金の返済による支出	201	210	9
移行前地方債償還債務の 償還による支出	487	477	△9
その他の財務活動による支出	0	15	15
翌事業年度への繰越金	1,841	603	△1,238

(注) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがある。

第6 短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実 績
1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応	1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応	1 最大借入高 397百万円（平成25年4月） 2 短期借入金の発生事由 資金の収支予定を作成し，効率的な資金運用を行っているが，一時的な資金不足が生じたことから，短期借入れを行ったもの。 ※ 4月中に返済済

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

中期計画	年度計画	実 績
なし	なし	該当なし

第8 剰余金の使途

中期計画	年度計画	実 績
決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。	平成25年度は，決算において剰余を生じたので，平成26年度以降における病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる予定である。

第 9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

中期計画	年度計画	実 績																		
1 施設及び設備に関する計画 (平成25年度から平成28年度まで) (単位：百万円) <table border="1"> <tr> <th>施設及び設備 の内容</th><th>予定額</th><th>財源</th></tr> <tr> <td>病院施設, 医療 機器等整備</td><td>17,571</td><td>福岡市長期借 入金等</td></tr> </table>	施設及び設備 の内容	予定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	17,571	福岡市長期借 入金等	1 施設及び設備に関する計画 (平成25年度) (単位：百万円) <table border="1"> <tr> <th>施設及び設備 の内容</th><th>予定額</th><th>財源</th></tr> <tr> <td>病院施設, 医療 機器等整備</td><td>1,181</td><td>福岡市長期借 入金等</td></tr> </table>	施設及び設備 の内容	予定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	1,181	福岡市長期借 入金等	1 施設及び設備に関する計画 (平成25年度) (単位：百万円) <table border="1"> <tr> <th>施設及び設備 の内容</th><th>決定額</th><th>財源</th></tr> <tr> <td>病院施設, 医療 機器等整備</td><td>1,129</td><td>福岡市長期借 入金等</td></tr> </table>	施設及び設備 の内容	決定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	1,129	福岡市長期借 入金等
施設及び設備 の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	17,571	福岡市長期借 入金等																		
施設及び設備 の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	1,181	福岡市長期借 入金等																		
施設及び設備 の内容	決定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	1,129	福岡市長期借 入金等																		
2 人事に関する計画 職員の意欲を引き出す人事制度を構築するとともに、教育・研修体制の充実等により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。 また、適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに、有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い、効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。	2 人事に関する計画 職員の意欲を引き出す人事制度の構築や教育・研修体制の充実等に取り組む。 また、職員の能力や適性等に応じた適材適所の人事配置や有期職員の活用等により、効果的・効率的な組織運営を推進する。	2 人事に関する計画 人事制度の構築については、平成23年度から試行中の医師を対象とした人事評価制度について、試行の効果を検証し、必要な改善策を講じたうえで、平成26年度から本格実施することとした。また、職員の勤務成績を適正に評価するため、前年度の事務職に引き続き、看護師及び医療技術職の勤務成績評価の見直しを行った。 教育・研修体制の充実については、本部事務局においてマネジメント能力向上を目的に、全職種を対象とした監督者研修を新たに実施したほか、両病院においても外部講師の活用による院内研修の実施や外部研修の受講を推進するなど研修体制の充実に努めた。 適材適所の人事配置や有期職員の活用等については、人材育成や組織の活性化を図るため、事務職及び医療技術職の病院間の人事異動を行ったほか、有期職員をこども病院に85名、福岡市民病院に115名及び本部事務局に2名配置するなど、効果的・効率的な組織運営を推進した。 ※ 有期職員の人数は平成25年5月1日現在																		

各小項目に対するウエイト付け

大項目	小項目			ウエイト
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	
		市民病院	2	
		こども病院	2	
		市民病院	2	
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	
		市民病院	2	
	(3) 災害時等の対応	両病院共通	1	
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	
		市民病院	2	
	(2) ボランティアとの共働	こども病院	1	
		市民病院	1	
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	2	
		市民病院	2	
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	2	
		市民病院	2	
	(3) 法令遵守と情報公開	両病院共通	1	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置				
1	自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	両病院共通	1	
2	事務部門等の専門性の向上	両病院共通	1	
3	意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	両病院共通	1	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 経営基盤の強化	(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立	両病院共通	2	
	(2) 投資財源の確保	両病院共通	1	
2 収支改善	(1) 増収	こども病院	2	
		市民病院	2	
	(2) 費用削減	両病院共通	2	
	(3) 収支改善	両病院共通	2	
第4 その他業務運営に関する重点事項を達成するためとるべき措置				
1	新病院の整備及び運営に関する取組	こども病院	2	
2	福岡市民病院の経営改善の取組	市民病院	2	

※第1期中期計画においては、ウエイト付けを3段階で行っていたが、第2期中期計画においては、独立行政法人化に伴う課題が改善され、経営も安定してきているのでウエイト付けを2段階で行うもの。

ウエイト付けの理由

公的病院としての使命を果たす上で重要事項であるため

公的病院としての使命を果たす上で重要事項であるため

公的病院としての使命を果たす上で重要事項であるため

公的病院としての使命を果たす上で重要事項であるため

公的病院としての使命を果たす上で重要事項であるため

安定的かつ継続的な病院経営を行う上で重要事項であるため

安定的かつ継続的な病院経営を行う上で重要事項であるため

安定的かつ継続的な病院経営を行う上で重要事項であるため

安定的かつ継続的な病院経営を行う上で重要事項であるため

病院機構として重要なプロジェクトであるため

公的病院としての使命を果たす上で重要事項であるため

地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針

平成22年11月10日

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第28条第1項及び第30条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が実施する地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の業務実績に関する評価（以下「評価」という。）については、以下の方針に基づき行うものとする。

1 基本方針

- (1) 評価は、法人が中期目標を達成するために、業務運営の改善及び効率化が進められること及び法人の質的向上に資することを目的として行うものとする。
- (2) 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- (3) 年度計画及び中期計画を実現するために、法人として特色ある取組や様々な工夫を行った場合は積極的に評価することとし、単に実績数値にとらわれないものとする。
- (4) 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。
- (5) 評価結果を法人に通知する場合は、法人に対し、意見申立ての機会を付与するものとする。

2 評価方法

(1) 法人からの報告書の提出

法人は、各事業年度及び中期目標期間終了後3月以内に、当該期間における業務の実績を明らかにした報告書（以下「業務実績報告書」という。）を評価委員会に提出する。その際、各事業年度の業務実績報告書においては、年度計画に記載されている小項目などについて法人が行った自己評価をあわせて記載する。

(2) 評価の実施

評価委員会は、提出された業務実績報告書をもとに、法人からの意見聴取等を踏まえて業務の実施状況を確認及び分析し、総合的な評価を行う。評価は、各事業年度終了時に実施する「年度評価」と、中期目標期間終了時に実施する「中期目標期間評価」とし、それぞれ「項目別評価」と「全体評価」により行うものとする。

① 年度評価

中期計画及び年度計画に記載されている小項目、大項目及び全体について評価を行う。

評価に当たっては、小項目について病院ごとの実績がわかるように工夫し、病院の自己点検に基づき、法人としての自己評価を行い、これに基づき評価委員会にお

いて確認及び分析し、「項目別評価」（小項目及び大項目）を行い、「項目別評価」の結果を踏まえつつ、中期計画、年度計画の進捗状況全体について総合的に評価を行う。

なお、「年度評価」に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定めるものとする。

② 中期目標期間評価

各「年度評価」の評価結果も踏まえつつ、中期計画に記載されている大項目及び全体について評価を行う。

評価に当たっては、当該期間における中期目標の達成状況について、当該期間中の「年度評価」の結果を踏まえつつ、評価委員会において確認及び分析し、「項目別評価」（大項目）を行う。さらに、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務実績全体について総合的に評価する。

なお、「中期目標期間評価」に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定めるものとする。

3 評価結果の活用

- (1) 法人は、評価結果や勧告を受けて、法人として取り組む事項を明確にし、改善に取り組むとともに、その状況を評価委員会に報告する。
- (2) 法人の業務継続の必要性及び組織のあり方等に関する検討、次期中期目標の策定及び次期中期計画の作成に関して、評価委員会が意見を述べる際には、中期目標期間の各年度の評価結果を踏まえるものとする。

地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領

平成22年11月10日

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の各事業年度に係る業務実績に関する評価（以下「年度評価」という。）を実施するにあたっては、「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針（平成22年11月10日決定）」に基づき、以下の要領により実施する。

1 項目別評価の具体的方法

「項目別評価」は、原則として当該年度の年度計画に定めた小項目ごとに、その実施状況について法人が自己評価を行う。さらに評価委員会においても評価を行った上で、年度計画に掲げる「第1～第4」の項目（大項目）について評価を行う。

なお、法人においては、年度計画の小項目を必要に応じて細分化することができるものとする。

(1) 項目別評価【法人による小項目自己評価】

法人において、小項目ごとの進捗について、実施状況をできる限り定量的に記載するとともに、次の5段階で自己評価を行い、判断理由を記載した業務実績報告書（別紙のとおり）を作成する。法人は、各項目に市立病院としての役割や年度計画の重要度合いを考慮して、ウェイトを設定するとともにその理由を付記するものとする。

なお、業務実績報告書には、特記事項として、特色ある取組、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題などを自由に記載するものとし、自己評価は、病院ごとの実績がわかるよう工夫し、病院の自己点検に基づき、法人として行うものとする。

評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。

評価4・・・年度計画を上回って実施している。

評価3・・・年度計画を順調に実施している。

評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。

評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

(2) 項目別評価【評価委員会による小項目評価】

評価委員会において、法人の自己評価及び法人が設定する小項目、ウェイトなどを総合的に検証し、小項目ごとの進捗状況について、法人の自己評価と同様に「1～5」の5段階による評価を行う。その際、単に目標値及び前年度数

値と当該実績値の比較だけでなく、計画を達成するために効果的な取組が行われているかどうかも含め、総合的に判断するものとする。

評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合は、評価委員会が評価の判断理由等を示す。

その他、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

(3) 項目別評価【評価委員会による大項目評価】

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容などを考慮し、大項目ごとに中期計画の実現に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行い、考慮した事項及びそのように判断した理由も記載する。

評価S：中期計画の実現に向けて、特筆すべき進捗状況にある

(評価委員会が特に認める場合)

評価A：中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

(すべての小項目が3～5)

評価B：中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる

(3～5の小項目の割合がおおむね9割以上)

評価C：中期計画の実現のためにはやや遅れている

(3～5の小項目の割合がおおむね9割未満)

評価D：中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある

(評価委員会が特に認める場合)

なお、小項目評価結果の割合を算定するにあたっては、ウエイトを考慮した小項目数によるものとする。

2 全体評価の具体的方法

評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行う。

全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取り組み(法人運営における業務運営の改善・効率化、財務内容の改善など)を積極的に評価するものとする。

その評価にあたり、項目別の結果とともに、主な取組や特色ある取組及び特に優れている点など特筆すべき取組について評価結果報告書(別紙のとおり)に記載するものとする。

また、評価の中で改善すべき事項については評価委員会の意見として評価結果報告書に記載するとともに、特に重大な改善事項については勧告を行うものとする。